国立国語研究所学術情報リポジトリ

日本語教育における学習項目一覧と段階的目標基準の開発：中間報告書

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002848

国立国語研究所内部報告書（SL-SCG-08-01）

日本語教育における学習項目一覧と段階的目標基準の開発

― 中間報告書 ―

平成21年3月
独立行政法人 国立国語研究所
日本語教育基盤情報センター

国立国語研究所内部報告書（SL-SCG-08-01）

日本語教育における学習項目一覧と段階的目標基準の開発

― 中間報告書 ―

平成21年3月
独立行政法人 国立国語研究所
日本語教育基盤情報センター

まえがき

国立国語研究所日本語教育基盤情報センター学習項目グループでは，現在，調査研究事業「日本語教育における学習項目一覧と段階的目標基準の開発」（平成18年度～22年度）に取り組んでいます。これは，在住外国人が日本社会の一員として地域社会に生きるために必要な日本語能力とは何かを明らかにし，その結果を日本語教育諸機関，日本語教育関係者に利用しやすい形で提供することを目指したプロジェクトです。

このプロジェクトの3年目にあたる平成20年度（2008年度）は，「日本語教育における学習項目一覧と段階的目標基準（生活のための日本語）」モデル案の作成を目指し，当グループがこれまでに収集した国内外の移民等に対する自国語（移動先言語）教育内容の比較対照，生活のための日本語やコミュニケーション能力に関わる先行研究の分析を行ってきました。並行して，国内在住外国人の日本語使用に関わる実態調査及びニーズ調査を行いました。

本書には，その成果として，「生活のための日本語」の枠組みを示し，その主たる構成要素の一覧を収録しました。今後，さらなるデータ収集と分析を進め，枠組みの見直しと構成要素の整備を行っていく予定です。

本報告書が，「生活者」にとって必要な日本語とは何か，を検討するための資料として，広く活用していただければ幸いです。

平成21年3月

独立行政法人国立国語研究所
日本語教育基盤情報センター
学習項目グループ長
金田　智子

目　次

まえがき

Ⅰ.「学習項目一覧と段階的目標基準（生活のための日本語）」開発に向けて　1

金田　智子

Ⅱ. 3種のシラバスの概要　9

福永　由佳

Ⅲ.「学習項目一覧と段階的目標基準（生活のための日本語）案」　17
1. 領域・場面・言語行動の一覧　17
2. 領域・場面・言語行動の一覧（該当国名入り）　29

金田　智子・福永　由佳・黒瀬　桂子

Ⅰ.「学習項目一覧と段階的目標基準（生活のための日本語）」開発に向けて

金田　智子

1.　研究の趣旨

現在，日本語教育基盤情報センター学習項目グループでは，調査研究事業「日本語教育における学習項目一覧と段階的目標基準の開発」（平成18年度～22年度）に取り組んでいる。今後，日本で生活する外国人はますます増えていくことが予想されることから，外国人が**社会の一員**として地域社会に根付き，職場や学校等で活躍できるよう，身に付けるべき日本語能力とは何か，生活者としての外国人にとって必要な日本語とは何かを検討することは，国内における外国人の受け入れ拡大に関わる重要課題である。本調査研究は，国内外の先行事例を参考にしつつ，具体的な調査データをもとに学習項目一覧と段階的目標基準を開発することにより，日本語学習内容の選定・カリキュラム作成，教材や試験の作成における基盤的な資料を提供しようとするプロジェクトである。

これまで，日本語教育の世界では，中国帰国者，難民，研修生，留学生，ビジネス関係者等に対しての日本語教育の内容・方法が広く開発されてきた。同時に数多くの教材が開発され，日本語の能力を測るテストも複数存在している。日本語教育の環境はかなり整備されてきたと言えるが，就労を目的として来日した外国人に対する日本語学習支援，学習の到達目標の明確化，そして，日本社会全体の日本語学習者や在住外国人に対する理解促進などにおいては，十分とは言えない点がある。たとえば，日本国内で実施されている教育プログラム，教材，テストなどの全体を見渡してみると，量的にも質的にも充実しているにもかかわらず，相互の関連性は見えにくい。これは日本語の学習者全体にとって，あるいは外国人を受け入れる日本社会にとって，不利益な状態をもたらしているのではないだろうか。

今回，本プロジェクトを立ち上げるにあたっては，すでに存在しているシラバスや教材をもう一度見直し，同時に学習者というものを今までの枠組みにはよらず，「生活者」あるいは「生活」という側面に焦点をあてて捉え直した。そして，彼らが**日本社会の一員**として生きていくうえで必要な日本語を検討することはできないかと考えた。

2.　研究の方法

この調査研究が始まってから3年間，複数の作業を進めてきた。まず，国内外の先行事例や先行研究の概観を行った。国内の日本語教育に関しては，中国帰国者，難民，研修生などに対する教育内容比較のための情報収集を行い，同時に国内に流通している初級教科書の分析を行った。海外については，移民等外国人の受け入れの歴史がある国々（アメリカ，ドイツ，オランダ，韓国，カナダ，オーストラリア）を対象に，情報収集を行った。

アメリカ，オランダ，ドイツ，韓国については，訪問調査も実施し，特に，アメリカとオランダにおける移民等に対する自国語教育のシラバスについて，その歴史的な背景や各種法律，理論的枠組み，作成過程，学習項目，カリキュラム，評価方法等を調べた。

また，国内在住外国人の言語使用実態や学習ニーズに関する調査研究に関する報告書を収集し，一覧化すると同時に，調査結果を概観した。そして，国内在住の外国人がどのような生活場面で日本語を使用しているのか，どのような日本語学習ニーズがあるのかについて，インタビューやダイアリー記述による調査と，全国規模の質問紙調査（科学研究費による）を実施した。並行して，コミュニケーション能力に関する研究，キー・コンピテンシーなど，現代社会に生きる者にとって必要な能力に関する研究について調べた。

以上の過程を通じて，「学習項目一覧と段階的目標基準（生活のための日本語）」の枠組みを検討し，項目一覧の整備に向けて作業を進めた。本調査研究で行う各種作業と，「生活のための日本語」の関係は図１のとおりである。

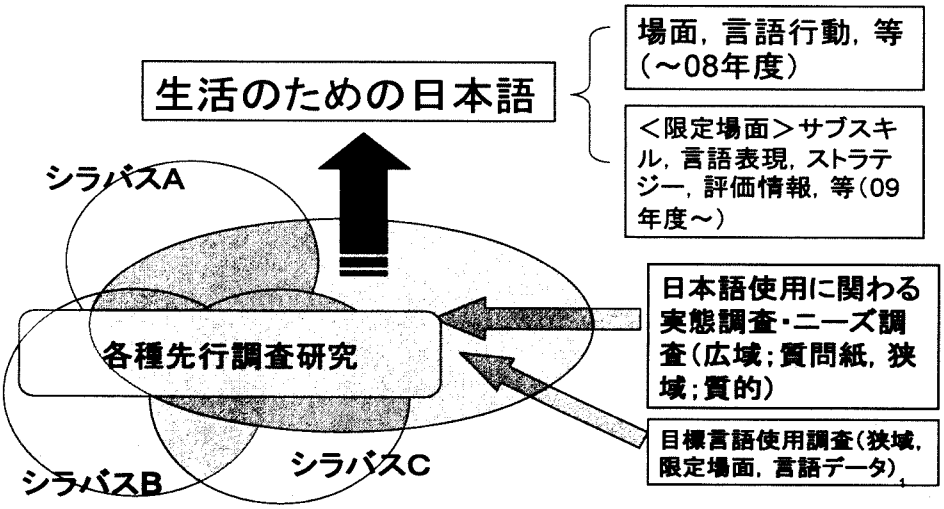
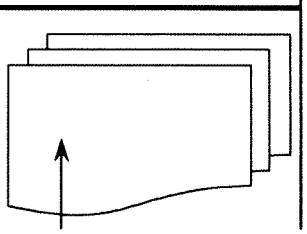


図１　「生活のための日本語」とその策定方法との関係

項目一覧のイメージは図２に示したとおりである。これは現段階の案であり，今後，「段階的目標基準」の要素を組み込んでいくことにより，全体の枠組みが変わる可能性がある。また，本報告書で紹介するのは，この一覧の左に位置する，「領域」「場面」「言語行動」のみである。また，これら「領域」「場面」「言語行動」の各項目及び名称も暫定的なものであり，今後，項目の整理及び項目間の包含関係などの精緻化を予定している。

領域	場面	言語行動	要望／難易等	スキル／サブスキル	知識	語彙	＜一部場面について＞言語表現
教育	中学校	子どもの担任と進路について相談をする	（使用実態調査及びニーズ調査の結果に基づく）	読む／手紙；情報を得るために読む，指示を読む 書く／申し込み用紙；名前を記入する，希望日時の印を付ける 話す／情報を要求する，情報を提供する，明確化要求をする，助言を要求する，希望を伝える	日本の学校体系，入試制度，授業料，奨学金制度…	高校，普通高校，普通科，商業高校，商業科，工業高校，工業科，公立，私立，付属，受験，入試，内申書，筆記試験，面接…	 ○実際の接触場面（日本語非母語話者と母語話者，非母語話者同士のやりとりの場面）で収集したデータ。 ・音声，映像 ・ストラテジー ・非言語行動 ・評価データ　等
教育	中学校	高校入試説明会に参加する		読む／手紙；情報を得るために読む，指示を読む 話す／情報を要求する，情報を提供する，明確化要求をする	日本の学校体系，入試制度，授業料，奨学金制度…	高校，普通高校，普通科，商業高校，商業科，工業高校，工業科…	

［図２　「生活のための日本語」一覧のイメージ］

３．　「領域」「場面」及び「言語行動」一覧の作成過程

本報告書では，これまでの作業を踏まえて作成した「学習項目一覧と段階的目標基準（生活のための日本語）案」のうち，「領域」「場面」及び「言語行動」を紹介する。これは，移民政策の先進国であるアメリカとオランダにおける自国語教育（移動先の言語）の内容と，日本国内における中国帰国者向け教育の内容の比較対照結果を基礎に，生活のための日本語や地域日本語教育に関する各種調査の分析結果をはじめ，各種作業から得られた知見をもとに作成したものである。

一覧の基礎に据え，比較対照を行った資料は以下の３種である。尚，これらの資料に関しては，次節で詳述する。

（１）日本：中国帰国者定着促進センターが中国帰国者向けの教育内容として開発した「目標構造表」。

（２）アメリカ合衆国：成人教育の評価専門機関 CASAS（Comprehensive Adult Student Assessment System）が作成した，成人対象 ESL 教育の内容に関するスタンダード。

（３）オランダ：移民等を対象とした市民統合テスト（Inburgerings examen）出題のためのシラバス。「オランダ語の達成目標（Eindtermen Nederlandse taal)」と「オランダ社会に関する知識の達成目標（Eindtermen kennis van de Nederlandse samenleving)」）からなる。

これ以外に，自国語教育の目標基準としては，オーストラリアの CSWE（Certificate in

Spoken and Written English）やカナダの CLB（Canadian Language Benchmarks）などがあるが，いずれも，言語に関する知識・能力を枠組みとしている。それに対し，今回の一覧の土台となった上記 3 種のシラバスは，それぞれの社会で生きていく人が，どういった場面・状況でコミュニケーションを行うことが期待されるか，そのための知識・能力は何なのかということを明らかにしたものである。「社会の一員」として活躍できるようになるための日本語，「生活」あるいは「生活者」に焦点化した日本語教育を考える際には，個々の文脈，つまり，一人一人が生きている生活や人生の各種場面を中心に据えることが重要だと考え，これら 3 種を主な分析対象とすると同時に，一覧の土台とすることとした。

これら 3 種の比較対照結果（福永・金田・黒瀬 2008，金田・福永・黒瀬・武田 2008）に，他の先行研究から得た知見を加え，「領域」「場面」「言語行動」を整理した。「領域」としては，以下の 7 種類を設け，領域の番号が若いほど，生活の基盤・根幹に関わるものとなるよう順序付けを行った。

領域 1　生命：身を守る
領域 2　生活：最低限の生活を守る
領域 3　市民：市民としての義務を果たし，権利を行使する
領域 4　交流・地域参加：他者と交流し，地域社会の一員となる
領域 5　仕事：経済的に自立する
領域 6　子どもの教育：子どもを育てる
領域 7　自身の教育：よりよい生活を営む

各領域には複数の「場面」が設けられている。たとえば，「領域 2　生活：最低限の生活を守る」には，安全，消費，金融，移動，住居，通信，情報収集がある。「言語行動」については，複数の行動を伴うような一連の行動を表すものを「言語行動」とし，それを成立させる行動を「下位行動（1）」に，さらに細分化されるものを「下位行動（2）」とした。これらは，たとえば，以下のような関係となっている。

言語行動：近隣に引越しの挨拶をする。
↳ 下位行動（1）：・退去時にあいさつをする。
・入居時にあいさつをする。
↳ 下位行動（2）：自己紹介・自国紹介

4．「知識」の扱いについて

3 種のシラバスに共通することとして，言語能力の領域と同様に，社会に関する知識の領域が重視されていることが挙げられる（福永・金田・黒瀬 2008）。それぞれの場面で適

切な言語行動を取ろうとすれば，社会に関する様々な知識が必要であることは言うまでもない。また，社会の中で不利益をこうむらないため，あるいは，生活を豊かにするために，その社会の制度，歴史，思考様式，情報収集の方法など，社会に関する知識を得ることは重要である。最終的な「学習項目一覧と段階的目標基準」には，「知識」を含める必要があるが，今回の一覧では，「領域」「場面」「言語行動」のみを取り上げるため，「知識」については枠組みに示すにとどめる。

5．　全国規模の質問紙調査について

本調査研究に関わる研究として，学習項目グループでは，同センター評価基準グループ（宇佐美洋グループ長，森篤嗣研究員，吉田さち研究補佐員）とともに，科学研究費（課題番号：20320074）による質問紙調査を実施している[1]。この質問紙調査は，在住外国人の日本語使用実態及び学習ニーズを明らかにすることを目的に，全国規模で行うものである。質問紙には，在住外国人を対象にしたものと，日本人を対象にしたものがあるが，外国人対象の質問紙では，14 の生活場面（あるいは，テーマ），105 の言語行動について，接触頻度，日本語による可否，日本語学習ニーズの有無をたずねた。この 14 場面，105 項目は，国内先行調査研究，国内外の移民等対象の自国語教育内容・到達目標等を参考に，集約・厳選したものである。14 場面とは，以下の通りである。

飲食店，買い物，交通手段，金融機関等，住居，役所・公共機関，医療・福祉，
緊急事態，自宅，地域交流，学習・余暇，保育園・幼稚園・小中学校，求職，職場

105 項目を設定するにあたっては，次の 4 つの観点を重視し，具体的な言語項目に反映した（金田 2008e）。

①「社会の一員」の視点

例）・自治会で意見を言う

・＜職場場面＞作業の進め方等について改善のための提案や相談をする

②「生涯」の視点

・カルチャースクールや職業訓練校など，学習のための機会や場所を探す

・子どもの進路を決めるための情報を集める

③「書く」コミュニケーション

・＜保育園・幼稚園・小中学校＞先生からの連絡ノートに返事や子どもの様子などを書く

・家族や友人にパソコンでメールを書く

④　現代性

・ドライブスルーで買い物をする
・駅の券売機で電子マネーにチャージする
・ネットで部屋を探す
・役所福祉課にデイサービス等，介護に関することについて相談する

この 105 項目は，本報告書のⅢで紹介する一覧に含まれており，今後，105 項目の分析結果を一覧に反映する予定である。

注

[1] 科学研究費による調査（「生活のための日本語」に関する調査研究）については，当研究所ウェブサイトの以下のページを参照のこと。
http://www.kokken.go.jp/katsudo/seika/nihongo_syllabus/reseach/

参考文献 ＊主なもの

＜中国帰国者関係＞
黒瀬桂子（2008）「中国帰国者に対する日本語教育の変遷」『平成 19 年度成果普及セミナー報告書　生活者にとって必要な「ことば」を考える』国立国語研究所日本語教育基盤情報センター
小林悦夫（1990）「中国帰国者に対する日本語教育の目標と試み」『AJALT』13 号，14-18，国際日本語普及協会.
田中望・藤田正春（1983）「中国帰国者用日本語教材の開発」『日本語学』Vol.2 No.3, 68-82，明治書院.
中国帰国孤児帰国孤児定着促進センター（1987）『中国帰国孤児定着促進センター　大人・青年コース指導項目表』.

＜アメリカ関係＞
福永由佳（2008a）「アメリカにおける移民等に対する自国語教育の内容について」『平成 19 年度成果普及セミナー報告書　生活者にとって必要な「ことば」を考える』国立国語研究所日本語教育基盤情報センター.
福永由佳（2008b）「米国における，「生活者」のための言語教育－成人基礎教育・識字教育の観点から－」『第 17 回小出記念日本語教育研究会予稿集』
福永由佳・金田智子（2008）「定住型外国人対象の自国語能力テストの社会的役割－オランダ、アメリカの事例から－」『日本言語文化研究会論集』第 4 号，1-18，国際交流基金日本語国際センター・国立国語研究所・政策研究大学院大学.
Burt, M. and Keenan, F. (1995) Adult ESL Learner Assessment: Purpose and Tools(ERIC

No. EDO-LE-95-08).
CASAS (2005) *ESL Appraisal(Form 20) Edition2.1.*
CASAS (2003) *CASAS Competencies: Essential life skills for youth and adult.*

＜オランダ関係＞
金田智子（2008a）「オランダにおける移民等に対する自国語教育の内容について」『平成19年度成果普及セミナー報告書　生活者にとって必要な「ことば」を考える』国立国語研究所日本語教育基盤情報センター
金　千佳（2000）「オランダにおける外国人参政権の意義と位置付け－移民たちの国籍と市民権－」『日蘭学会会誌』25，日蘭学会.
杉本明子（2006）「第２言語としてのオランダ語検定試験の導入とその社会的影響」国立国語研究所編『世界の言語テスト』くろしお出版.
福永由佳・金田智子（2008）「定住型外国人対象の自国語能力テストの社会的役割－オランダ、アメリカの事例から－」『日本言語文化研究会論集』第 4 号，1-18，国際交流基金日本語国際センター・国立国語研究所・政策研究大学院大学.
吉田信（2003）「移民から市民へ－オランダ移民政策にいる統合パラダイムの転換」『日蘭学会会誌』28，日蘭学会.
ALTE(2008) *ALTE members: Cito.*
(http://www.alte.org/members/dutch/cito/index.php)　2009年3月1日参照。
Bureau ICE・Cito (2006) *Eindtermen kennis van de Nederlandse samenleving.*
Bureau ICE・Cito・ITTA (2006) *Eindtermen Nederlandse taal.*
Ministry of Justice (2006) *Eindtermen inburgering.*

＜その他＞
金田智子（2008b）「日本語教育における学習項目一覧と段階的目標基準の開発」『平成 20年度日本語学校教育研究大会予稿集』20-25，日本語教育振興協会.
金田智子(2008c)「『生活のための日本語』のとらえ方－先行事例,実態調査から考える－」，国立国語研究所編『日本語教育年鑑2008年版』43-53，くろしお出版.
金田智子(2008d)「学習者の多様性と多面性にこたえる日本語教育とは」『日本語教育研究』15，5-14，韓国日語教育学会.
金田智子（2008e）「『生活のための日本語』を再考する」『日本語学習支援ネットワーク会議 08in AKITA 午後の部：第３分科会』（予稿集）1-6，日本語学習支援ネットワーク会議.
金田智子・福永由佳・黒瀬桂子・武田聡子（2008）「生涯発達の視点から見るコミュニケーション能力－『生活のための日本語』探求のために－」『日本語教育世界大会2008 予稿

集』279-282.
国際移住機関（2008）『外務省；静岡県・国際移住機関共催「外国人住民と社会統合に関する国際シンポジウム」バックグラウンド・ペーパー　在日日系ブラジル人の現状と今後の課題』
国際日本語普及協会（2003）『「リソース型生活日本語」目次翻訳』
＊同協会のウェブサイト（http://www.ajalt.org/resource/）から，目次詳細に関する情報入手。
日本語教育基盤情報センター学習項目グループ編（2008）『国立国語研究所内部報告書平成19年度 成果普及セミナー「生活者にとって必要な『ことば』を考える」』. 2009年3月31日現在，国立国語研究所の以下のウェブサイトでダウンロード可。
（http://www.kokken.go.jp/katsudo/seika/nihongo_syllabus/seika/）
NIRA・シティズンシップ研究会『多文化社会の選択－「シティズンシップ」の視点から』日本経済評論社.
福永由佳・金田智子・黒瀬桂子・武田聡子（2008）「『生活のための日本語』の学習項目一覧作成に向けて－国内外の自国語教育内容の分析をもとに－」『2008年度 日本語教育学会春季大会予稿集』183-184.
ライチェン&サルガニク（2006）『キー・コンピテンシー－国際標準の学力をめざして－』明石書店.
労働政策研究・研修機構編（2006）『労働政策研究報告書No.59　欧州における外国人労働者受入れ制度と社会統合－独・仏・英・伊・蘭5カ国比較調査－』労働政策研究・研修機構.

Ⅱ．3種のシラバスの概要

福永　由佳

一覧を作成するにあたり，主たる分析対象としたものは，日本国内における中国帰国者向けの日本語教育の内容に関する資料，移民等の受入れの歴史が長いアメリカ及びオランダにおける自国語教育の内容に関する資料である。以下，それぞれの資料の背景及び概要について述べる。

1．　日本

【資料の背景】

1972 年の日中国交正常化以降，中国帰国者（以下，帰国者）やその家族の日本への永住帰国が進み，現在，その数は 2 万人を超えている。帰国者とその家族の永住帰国に伴い，生活で遭遇する場面において必要となる知識と日本語を習得することを目指し，中国帰国者定着促進センター（1984 年開所，以下，所沢センター）をはじめとする，全国の研修機関において日本語教育プログラムが実施されている。その中でも，来日直後の集中研修が行われる所沢センターは中心的な機能を有し，研修だけではなく，帰国者の学習ニーズや接触場面に関する基礎的な調査研究を実施し，これらの調査をもとにした独自のシラバスや教材の開発と改善に取り組んでいる。

【資料の概要】

本書で取り上げる日本国内の資料は，所沢センターが開発した「目標構造表」である。

「目標構造表」は，それ以前に開発された「指導項目表」とは異なり，表現・語彙が詳細に明示されていない。図 1 に示すように，大・中・小目標は学習者に共通しているが，小目標の下位分類レベルでは学習者タイプごとに異なる達成目標設定されている。達成目標は達成できたか否かがはっきり判断できるように，「～できる」「～を身に付ける」「知る」といった具体的な行動指標として記述されている。

・ 大目標（自信と意欲，知識・基礎技能）**1項目**

日本の生活，日本人とのコミュニケーションに対する自信と意欲，
それを裏打ちするような基礎技能・基礎知識の獲得を目指す

・中目標（基礎的な生活行動，背景知識，定着地へ行ってからのコミュニケーション）
3項目

- 中目標 1. 身近な生活行動場面の基礎知識・基礎技能
- 中目標 2. 将来の生活に有用な基礎知識・基礎技能
- 中目標 3. 身近な生活や将来の生活の基礎となるコミュニケーションの力

・小目標（目標の項目は同じでも，その目標内容がレベルによって異なる）

- 中目標 1 の下位分類として **10項目**
  交通，消費生活，センター，住居・近隣対応，職場・自分学校，
  健康，通信，社会福祉・手続き，子弟教育，生活技能
- 中目標 2 の下位分類として **3項目**
  一般教養，異文化，日語自学
- 中目標 3 の下位分類として **2項目**
  話題コミュニケーション，日語知識

・達成目標

各小目標に対して複数の達成目標が設定されている。
あるプログラムが実施された結果として達成されるよう目指される
目標レベル。

［図１：大目標，中目標，小目標］

（黒瀬 2008：p. 38）

２．　アメリカ

【資料の背景】

アメリカでは移民等に対する英語教育は成人教育の一環として位置付けられているが，他の成人教育プログラムに比べ，ニーズが高く，成人教育全体の約 43%を占めるまでに至っている。また，1980 年代からの教育改革において推進された教育内容の標準化の流れを受け，成人教育としての英語教育分野（以下，成人 ESL と略す）においても教育内容の標準化が進行している。その結果，教育を専管する州レベルの基準や州レベルの基準のマス

タープランとしての専門機関による基準など，目的や開発主体の異なる，様々な基準が存在している。

【資料の概要】

本書で取り上げるアメリカ資料は，成人教育分野における代表的な評価専門機関である包括的成人学習者評価システム（Comprehensive Adult Student Assessment System，略称CASAS)が作成したコンピタンシー(Competency)の一覧である。コンピタンシーとは，家庭，地域社会，職場の場面で成人に求められるスキルや知識を意味し，フィールドリサーチ等の調査並びに成人教育の専門家等による検討をもとに，現在9領域約300項目が整備され，現在も定期的に見直しが行われている（表１)。

[表１：コンピテンシーの９領域と主な分野]

0.基礎的なコミュニケーション 個人間コミュニケーション，個人情報に関するコミュニケーション	1.消費者経済 度量衡，金銭管理，サービス・商品の購入，消費者保護	2.地域社会の資源 電話，交通，郵便，時間・天候，余暇，文化
3.健康 医療サービス，健康維持，薬	4.雇用 求職，労働条件，労働団体，組織・システム，職業訓練，テクノロジー，職場のコミュニケーション	5.政府と法律 権利と義務，選挙，法的アドバイス，税金，環境，経済，歴史と地理
6.計算 数字，整数，小数，分数，方程式，グラフ，統計，度量衡，計算，暗算	7.学ぶことを学ぶ 自己管理，目標設定，時間管理，学習能力，思考力，問題解決力	8.自立生活のスキル セフルケア，ホームケア，目標達成

(CASAS(2003)をもとに作成)

次ページに示すように，領域，分野，分野を構成する具体的な項目は全て「～を使用する」「～を理解する」「～を解釈する」といった行動指標で記述されている。

成人ESL学習者向けを含む，CASASが全米の成人教育機関に提供するテスト等はこのコンピタンシーリストを基盤に開発され，これらのテストは全米各地の教育機関で実施されている。さらにCASASのコンピテンシー準拠の英語教材も一般の出版社から出版されており，CASASのコンピテンシーが成人ESL分野における浸透度が伺える。

健康の領域（3.）の構造

3.1 医療制度へのアクセス方法と利用方法を理解する

3.1.1 身体の部分を特定するなど，病気の症状を説明し，医者の指示を解釈する

3.1.2 医療機関や歯医者を予約したり，予約を守るために必要な情報を特定する

3.1.3 （略）

3.2 医療や歯科用の記入用紙と関連する情報を理解する

3.2.1 病歴用の記入用紙に記入する

3.2.2 予防接種の要件を解釈する

3.2.3 ～3.2.4 （略）

3.3 薬の選択と使用法を理解する

3.3.1 必要な薬を特定し，使用する

3.3.2 薬のラベルを解釈する

3.3.3 （略）

3.4 基本的な健康と安全の手順を理解する

3.4.1 製品ラベルの指示と安全のための警告を解釈する

3.4.2 事故や怪我を防ぐ安全対策を特定する

3.4.3 ～3.4.5 （略）

3.5 健康維持の基本原則を理解する

3.5.1 食品ラベルに掲載されている栄養と関連情報を解釈する

3.5.2 バランスの取れた食事を選択する

3.5.3 ～ 3.5.9 （略）

(CASAS(2003)をもとに作成)

3. オランダ

【資料の背景】

2006年以降，オランダに住むためには，一定のオランダ語能力及びオランダ社会に関する知識を証明することが求められている。その証明のために受験する市民統合テストは，2007年から実施されており， 1998年の新移民統合法以前からオランダに居住していた移民（旧移民）とそれ以降の移民（新移民）の両方を対象としている。永住権申請は，この試験の合格が要件とされるが，仮入国許可を得ている人（海外版市民統合テストの合格者）は入国後3年半以内，それ以外は入国後5年以内に合格しなければならない。

【資料の概要】

本書で取り上げたオランダ資料は市民統合テスト（**Inburgerings Examen**（Civic

integration examination)) 出題のためのシラバス「統合の最終達成目標」である「オランダ語の達成目標（Eindtermen Nederlandse Taal)」と「オランダ社会に関する知識の達成目標（Eindtermen Kennis van de Nederlandse Samenleving)」である。

表2にあるように，オランダ語の試験では，日常生活や仕事の場において，経験する頻度の高い領域と場面（CP）が取り上げられ，さらに各場面に必要不可欠な行動（CH）が1～3つ具体的に設定されている。

[表2:必要不可欠な生活場面におけるオランダ語の領域・場面]

領域・場面数	場　面
市民生活 全10場面	市役所等（個人情報変更の届け出，書類申請や各種手続き，警察への届け出)，支払い（銀行)，保険，住居（住居を借りる，公共料金・電話，ゴミ・環境)，教育，隣人関係
子育て＜育児，健康，教育＞ 全11場面	乳幼児健診センター，プレイルーム，小学校へ，小学校との連絡，安全，読書と遊び，自由時間，中等教育へ，将来についての話，家庭医，歯科医
就労分野（一般） 全9場面	職探し（仕事を探す，求人応募，労働契約についての会話)，職場で（労働条件についての会話，人事考課面談，病欠及び復帰の連絡，仕事の打ち合わせ／チームミーティング，同僚との話し合い，同僚との会話)
就労分野（職種別） 3種，各5場面	技術系（顧客とのコンタクト，報告する，労働安全衛生規則への対処，苦情への対応，作業指示の理解)，商業及びサービス業系（顧客とのコンタクト，報告する，労働安全衛生規則への対処，苦情への対応，作業指示の理解)，保健医療及び福祉系（利用者との接触，報告する，労働安全衛生規則への対処，苦情への対応，作業指示の理解)

（金田 2008：p.20)

「オランダ社会に関する知識」に関する試験では，「必要不可欠な生活場面」として，以下の4つの場面と，8つのテーマが設定されている。

「必要不可欠な生活場面」：4区分

- 労働市場で適切に対応する
- 自分の生活環境で適切に対応する
- 機関や政府との連絡（関係）で適切に対応する
- オランダ国民として適切に対応する

「8つのテーマ」

- 仕事と収入
- マナー・価値観や規範
- 住まい
- 健康と保険医療
- 歴史と地理
- 各種機関

・ 国家組織と法治国家

・ 教育と育児

各テーマには不可欠な行動，不可欠な知識，知識の具体例として「成功行動の指標」が示されている。(表 3 参照)。

[表3:「オランダ社会に関する知識」の例]

テーマ4. 健康と保健医療
オランダ社会に定着しようとする外国人は，オランダの保健医療制度の規則に従い，保健医療を利用することができる。

不可欠な行動	不可欠な知識	成功行動の指標
4.1 自分の健康状態と生活様式を考慮して賢い選択をする	4.1.1 運動と健康的な食品が，健康に大きく貢献することを知っている。	健康を維持するためスポーツをし，体を動かし，健康的な食生活をする。
4.2 一次保健医療（家庭医）を利用する	4.2.1 家庭医の見つけ方を知っている。	家庭医の選択に関して自分の保険会社に相談する。
		家庭医のもとに登録を申し込む。
		患者の自己紹介面談のために予約を入れる。
	4.2.2 どういった症状で家庭医を訪ねることができるか，あるいは訪ねなければならないかを知っている。	家庭医の任務と責務の範疇にある愁訴に関して予約を入れる。
	4.2.3 オランダの医師の一般的な指示方法を知っている。	回復促進に役立つ行動をする。
		薬の処方が控えめに行われることを理解する。
4.3 二次保健医療を利用する	4.3.1 家庭医が専門医療に紹介してくれることを知っている。	医療的問題がある場合には，まず家庭医のところへ行く。
		専門医を訪ねるときには紹介状を携行する。
		病院の規則や慣習を遵守する。
		初回通院時には，まず登録カードを作成してもらう。
	4.3.2 患者がいつ自宅介護サービスを求める権利を持っているかを知っている。	提供されるサービスの種類の例を挙げる。
		介護審査センターに介護の予約を申し込む。
	4.3.3 家庭医に，社会心理方面の介護サービスや社会福祉事業団体に紹介してもらえることを知っている。	心理的問題がある場合には，まず家庭医に連絡を取る。

(金田 2008：p. 21)

参考文献

金田智子（2008）「オランダにおける移民等に対する自国語教育の内容について」『平成19年度成果普及セミナー報告書　生活者にとって必要な「ことば」を考える』国立国語研究所日本語教育基盤情報センター

金田智子・福永由佳・黒瀬桂子・武田聡子（2008）「生涯発達の視点から見るコミュニケーション能力－『生活のための日本語』探求のために－」『日本語教育世界大会2008 予稿集』279-282.

黒瀬桂子（2008）「中国帰国者に対する日本語教育の変遷」『平成19年度成果普及セミナー報告書　生活者にとって必要な「ことば」を考える』国立国語研究所日本語教育基盤情報センター

中国帰国者定着促進センター（1995）『平成4・5・6年 文化庁日本語教育研究委嘱中国帰国者に対する日本語教育のカリキュラム開発に関する調査研究』

福永由佳（2008）「米国における，「生活者」のための言語教育－成人基礎教育・識字教育の観点から－」『第17回小出記念日本語教育研究会予稿集』

福永由佳（2008）「アメリカにおける移民等に対する自国語教育の内容について」『平成19年度成果普及セミナー報告書　生活者にとって必要な「ことば」を考える』国立国語研究所日本語教育基盤情報センター

福永由佳・金田智子（2008）「定住型外国人対象の自国語能力テストの社会的役割－オランダ、アメリカの事例から－」『日本言語文化研究会論集』第 4 号，国際交流基金日本語国際センター・国立国語研究所・政策研究大学院大学

Bureau ICE・Cito (2006) *Eindtermen kennis van de Nederlandse samenleving.*

Bureau ICE・Cito・ITTA (2006) *Eindtermen Nederlandse taal.*

CASAS (2003) *CASAS Competencies: Essential life skills for youth and adult.*

Ⅲ.　「学習項目一覧と段階的目標基準（生活のための日本語）案」

1．領域・場面・言語行動の一覧

＊「学習項目一覧と段階的目標基準（生活のための日本語）案」のうち，領域・場面・言語行動の一覧である。
＊言語行動として挙げられているもののうち，（　）の中に番号が示されているのは，本報告書「I．5」で紹介した全国規模の質問紙調査の中で取り上げた 105 の言語行動である。番号は，質問紙中の項目番号を表している。

担当：金田智子・福永由佳・黒瀬桂子

領域	場面	言語行動	下位行動(1)	下位行動(2)
【1 生命・身を守る】	医療機関の利用	初診の受付をして，問診票を記入する(48.)		
		診察の時に，医師や看護師とやりとりをする	症状を説明する	
			アレルギー等を説明する	
			医者の指示・説明を理解する	
		医療機関へ予約を申し込む		
		往診を依頼する		
		症状に合わせて，適切な病院・医院を探す(47.)		
		薬の飲み方を理解する	出された薬に関する説明（種類や効能，飲み方など）を聞く(50.)	
		休日診療を利用する		
		医療費を理解し，支払をする		
		医療費補助を請求する		
	薬の利用	市販薬を選択し，購入する		
		薬の飲み方を理解する	出された薬に関する説明（種類や効能，飲み方など）を聞く(50.)	
		薬の説明書きから飲み方（1日3回毎食後など）や使い方を読み取る(51.)	薬のラベルを理解する	
			処方箋を理解する	
		薬局（処方箋の扱いの有無，ドラッグストア）を利用する		
		薬を適切に利用する	常備薬を利用する	
	緊急対応・防災	医学的緊急事態に対処する	血液型，既往症・持病，服用薬を説明する	
		災害に対処する	火災・救急(119)や警察(110)に電話する(56.)	
			緊急時，保険会社に連絡して相談する(57.)	
			災害・事故時に他の人に助けを求める(58.)	
			テレビやラジオから災害情報を得る(59.)	
		災害や犯罪に備える	公共の防犯・防災等に関するアナウンスを聞く(46.)	
	健康維持・病気の予防	予防接種を受ける	市報・区報の，予防接種や健康診断などについてのお知らせを読む(45.)	
			予防接種・健康診断前の注意事項を理解する	
		健康診断を受ける	市報・区報の，予防接種や健康診断などについてのお知らせを読む(45.)	
			乳幼児健診や無料がん検診の通知を読む（日時や持ち物など，必要事項の把握）(52.)	
		薬物，タバコ，アルコール依存を正しく理解する		
	保険	保険に加入する	国民健康保険の加入手続きをする(40.)	
			生命保険，損害保険，各種保険へ加入する	
		保険を請求する		
	福祉	介護サービス等を利用する	役所の福祉課にデイサービス等，介護に関することについて相談する(54.)	

領域	場面	言語行動	下位行動(1)	下位行動(2)
			介護認定の申請をし，必要な手続きをとる(55.)	
		その他の福祉サービスを利用する		
	衛生管理・環境保全	下水道を利用する	し尿処理のための設備(し尿浄化槽等)を利用する	
		衛生的な生活をする	食品を保存する	
			洗剤を区別し，利用する	
			布巾・雑巾を区別し，利用する	
【2 生活 - 最低限の生活を守る】	安全	施錠をする		
		危険物のサイン，ラベルを理解する		
	消費	対面販売(スーパー，コンビニ，小売商店，ドライブスルー)で商品を購入する	ほしいものの場所を探すために，店内の表示を見たり，店員にたずねたりする(8.)	
			商品の機能や値段を知るために，店頭の表示を読んだり，店員に質問したりする(9.)	
			店内アナウンスを聞いて理解する(13.)	
			ドライブスルーで買い物をする(14.)	
			商品の表示(衣服の素材，食品の材料等)を読む(10.)	
			ポイントカードや割引券を利用する(11.)	
		通信販売(電話，郵便，カタログ販売，テレビ通販，ネット販売)で商品を購入する	ほしい物を電話で注文する(15.)	
			ほしい物をFAXやネットで注文する(16.)	
		レストラン・喫茶店・居酒屋で飲食をする	電話やインターネットで店を予約する(1.)	
			店で人数・禁煙喫煙，店内飲食か持ち帰りかなどの希望を伝える(2.)	
			メニューを読んで注文する(4.)	
			店員に料理の材料について質問したり，希望を伝えたりする(5.)	
			食券を買う(3.)	
		出前(デリバリー)を利用する	出前用のメニューを見て電話注文する(6.)	
		自動販売機を利用する		
		修理を依頼する，返品をする	品物の返品や交換をする(12.)	
			通信販売で買った品物の返品や交換をする(17.)	
		購買のための広告(新聞，折込)を利用する	折り込み広告を見て，値段を比べる(7.)	
		支払いをする	簡単な計算をする	
			税率，割引率を理解する	
			請求書を理解する	
			レシート，領収書を理解する	
			クレジットカードを利用する	利用明細，請求書
			プリペイドカードを利用する	購入，チャージ，ギフト

領域	場面	言語行動	下位行動(1)	下位行動(2)
			電子マネーを利用する	購入，チャージ
		各種サービス(クリーニング，現像，修理，美容院)を利用する		
	金融	銀行を利用する	口座開設(窓口で新しく口座を開設する)(29.)	
			ATMの利用(現金自動支払機(ATM)で現金の引出，振込，公共料金の支払いなどをする)(28.)	通帳
				キャッシュカード
			預金(銀行や郵便局の窓口で定期預金や各種ローンを申し込む)(32.)	
			ローン(銀行や郵便局の窓口で定期預金や各種ローンを申し込む)(32.)	
			送金，振り替え(銀行や郵便局の窓口で海外送金をする)(31.)	
			両替をする	
			銀行や郵便局の窓口で現金引出，振込，公共料金の支払いなどをする(30.)	
	移動	交通機関を選択する		
		公共交通機関を利用する	駅やバス停で路線図や時刻表を読む(21.)	
			行き先・停留所を確認する(電車やバスの乗務員や他の乗客に，停車駅や乗り換えを確認する)(23.)	
			駅の構内やバスの車内アナウンスを理解する(22.)	
			運賃を支払う	
			駅の窓口で乗車券を買う(18.)	
			駅の券売機で乗車券を買う(19.)	
			プリペイドカードを利用する	
			駅の券売機で電子マネーにチャージする(20.)	
		交通標識を理解する		
		交通規則を遵守する		
		危険行為をしない		
		車・オートバイ等を使用する	運転免許を取得する，切り替えをする	
			車・オートバイを購入する	
			自動車保険に加入する	
			ガソリンを購入する	
			駐車場を確保する，契約する	
			地図を理解する	
			車・オートバイの定期点検を受ける	
			事故・故障時に対処する	
			高速道路を利用する	
		自転車を使用する	自転車を購入する	

領域	場面	言語行動	下位行動(1)	下位行動(2)
			駐輪場を利用する	
		徒歩で移動する	道を尋ねる(道聞き)	
			目的地までの行き方を人に説明する(27.)	
			迷ったときに対処する，交番を利用する	
			家の表札，近隣の地名や番地，交差点名，街の案内地図などを読む(26.)	住所・番地
				地図の理解
		タクシーを利用する	タクシーを電話で呼ぶ(24.)	
			タクシー運転手と，行き先や行き方などについてやりとりをする(25.)	
	住居	家を探す	ネットで部屋を探す(35.)	
			不動産屋に相談する(36.)	
			間取り図を読む(37.)	
			賃貸契約をする(契約書に記入する)(38.)	
			購入契約をする(契約書に記入する)(38.)	
			住宅ローンを組む	
		引越の手続きをする	諸手続き(住民登録など)をする	
			引っ越し業者に依頼をする	
			不用品の処分をする	
		近隣に引越しの挨拶をする(68.)	退去時にあいさつをする	
			入居時にあいさつをする	自己紹介・自国紹介
		住環境を整える	引越しの手続きをする(電気・ガス・水道・インターネット，電話・各種住所変更)(39.)	口座振り替え手続き
			ガス・水道等の使用明細を理解する	
	通信	手紙・小包などを出す	送り先，表書きを書く	
			記入シートに必要事項を書き込み，書留や小包，宅配便などを送る(33.)	日本郵便
				宅配便
				各種郵便物
			宅配便，書留を受け取る	
			不在配達通知を見て，自動音声案内に従って再配達依頼の電話をする(34.)	
		インターネット通信を利用する		
		電話を利用する	電話番号を調べる	電話帳
			電話料金の明細を理解する	
			公衆電話を利用する	
			留守番電話を利用する	
			ファクスを利用する	
		携帯電話・PHS・固定電話を契約する	契約を結ぶ	
	情報収集	新聞を読む(66.)	統計情報を理解する	

領域	場面	言語行動	下位行動(1)	下位行動(2)
		ニュースを見聞きする(65.)	テレビやラジオでニュースを見聞きする(65.)	
			インターネットでニュースを見聞きする	
		電話サービスで天気予報や時間を知る		
		ニュース，天気予報を読む	インターネット通信	
		インターネットで検索する		
		図書館を利用する(75.)	図書館利用カードを作成する	
		フリーペーパー，情報誌を活用する		広報
				駅等設置のフリーペーパー
				雑誌
【3 市民-市民としての義務を果たし、権利を行使する】	公的機関への登録	各種の手続き(外国人登録，住民登録，出生届け，国保加入，転入・転出届け)をする	国民健康保険の加入手続きをする(40.)	
			役所で子どもの小学校や中学校への編入学を相談し，申し込む(41.)	
			役所で保育園・学童保育の申請手続きをする(42.)	
			年金の申し込みや問い合わせをする(53.)	
	支援	支援を受ける	福祉サービス，ネットワーク，相談窓口などを利用する	
			外国人相談窓口を利用する(44.)	国際交流協会
			各種手当(育児手当，扶養手当等)を受給する	
		各種補助金を申請し，受給を受ける		
		支援する		
	義務	税金を納める	各種税金(所得税，市民税，消費税等)を理解する	
			確定申告・還付申告をする	
		軽犯罪・犯罪に対応する	交通違反切符に対処する	
			犯罪報告手続きをとる	
	権利	政治に参加する	地方参政権を行使する	選挙
		人権を尊重する	法的権利を行使する	
【4 交流・地域参加	人との交わり	基本的な挨拶をする		
		家族や友人と会話をする(60.)		
		自宅にかかってきた電話に対応する(61.)		
		留守番電話のメッセージを聞いたり，留守番電話にメッセージを入れたりする(62.)		
		メールのやりとりをする	家族や友人と携帯でメールのやりとりをする(63.)	
			家族や友人にパソコンでメールを書く(64.)	
		接客する，訪問する	訪問者に対応する(67.)	訪問のマナー
				接客のマナー
				食べ物・飲み物の勧め方・断り方
	近隣交際	近隣の人に対して，自己紹介(国，家族の紹介)をする		

領域	場面	言語行動	下位行動(1)	下位行動(2)
他者と交流し、地域社会の一員となる】		近隣の人と家の周辺で挨拶や世間話をする		
		近隣の人と物(土産，おすそ分け)をやりとりす		
		招待する，招待に応じる	好き嫌い，趣味を話す	
		近隣の人の慶弔事に対応する		
		近所の人に苦情を言ったり，言われた苦情に対処したりする(73.)	迷惑・損害に関して謝罪する	
			迷惑軽減のための話し合いをする	
			迷惑をかけることを予告する	
	地域参加	適切にゴミ出しをする	ゴミ収集スケジュールを理解する	
			粗大ゴミ回収の予約をする	
		地域行事・自治会に参加する，協力する	地域の清掃，防災訓練，お祭りなどに参加する(71.)	
			自治会などの集会で意見交換する(72.)	
			自治会などの委員・役員をする	
			日本語教室や国際交流のイベントに参加する(74.)	
		回覧板・掲示板を読む(70.)		
		緊急時の連絡をする		
	異文化理解			
【5 仕事 -	求職	求職申込書や人材登録用紙に必要事項を記入し，求職相談をする(90.)	求職者登録(ハローワーク，人材派遣会社)，エントリーシートに記入する	
		求人広告・求人情報を理解する	求人広告を読み，条件を検討する(84.)	
			ハローワーク等でパソコンを使って，適当な職があるか検索する(89.)	
			職務内容，就業要件，雇用条件を理解する	
		求人に応募する	履歴書を書く(85.)	
			人事担当者に電話で問い合わせをする(86.)	
		面接の予約を申し込む		
		面接通知を理解する		
		面接の準備をする(自己紹介，動機の確認，適切な振る舞い，態度)		
		就職面接を受ける(87.)	自分の能力，職歴を伝える	
			職務等について自分から質問する	
			職務内容，就業要件，雇用条件を理解する	
	就業 (労働条件の理解)	雇用契約を理解する	労働契約書を読んで確認する(88.)	
		雇用形態を理解する	労働契約書を読んで確認する(88.)	
		雇用に関わる保険を理解する	労働契約書を読んで確認する(88.)	
		給与明細を理解する	給与明細を見て不明な点について尋ねる(93.)	
		出退勤など時間管理に関わる書類を理解し，記入する		
		労働者団体(組合等)についての情報を得る		

領域	場面	言語行動	下位行動(1)	下位行動(2)
経済的に自立する】		労働者団体(組合等)に加入する		
		就業規則を理解する	就業規則を読み，わからないことを質問する(91.)	
		労働条件についての質問を口頭あるいは書面で行う	労働契約書を読んで確認する(88.)	
	就業 (職場の安全確保)	職場の表示や注意書きを読む(104.)	安全上の標示を理解する	
		労働安全用マニュアルを理解する	書類を読む(99.)	
		危険・事故・怪我・損傷に関わることを報告する	日報や報告書を書く(100.)	
	就業 (職務の遂行)	仕事のマニュアルを理解する	書類を読む(99.)	
		就業上必要なスキルを理解する		
		日報や報告書を書く(100.)		
		遅刻・欠勤を連絡する，申請する	欠勤・遅刻・早退の連絡をする(92.)	
			休暇を口頭で願い出る，休暇届を出す(94.)	
		指示を理解する，確認する。 業務の進め方を理解する，確認する	指示を理解して，適切な行動をとる(96.)	文化的多様性を意識したコミュニケーション
		各種通信(メモ，メッセージ，電子メール)をやりとりする	電話に対応する(98.)	私用電話
		書類を読む(99.)	文書(発表，通知)	
		進捗状況，問題などを報告する		
		打ち合わせ・会議を行なう	会議議事録・議事項目リストを読む	
			議事項目リストから会議内容を予測する	
			発言の準備をする	
			プレゼンテーションをする(101.)	
			会議に出席し，意見交換する(102.)	同僚等への説明
				自身が関係する業務に関する情報提供
				自身が関係する業務に関する質問・意見
			自分用に会議の内容を記録する	
			作業の進め方等について改善のための提案や相談をする(105.)	職務分担に関する話し合い
		顧客とコミュニケーションをする	取引先や顧客と仕事上のコミュニケーションをする(103.)	
		人事考課面談を受ける	人事考課面談の準備をする	面談での話題に関する理解
				自己評価・職務記録
			人事考課面談で業務及び成果について意見交換する	
			契約更新について話し合う	

領域	場面	言語行動	下位行動(1)	下位行動(2)
	事務機器の利用	一般的なツール，装置，機材を利用する		
		ファイリングシステム(コード番号)などを理解する，応用する		
		事務機器を活用する		
		コンピュータを利用する		
		機材等のメンテナンスをする		
	職場でのコミュニケーション	職場の人と仕事を進めるためにコミュニケーションする(97.)	同僚・上司・部下とやりとりをする	
		休憩時間中に職場の人と会話をする		
		職場の行事(歓送迎会，運動会等)に参加し，親睦を深める(95.)		
	キャリア計画	就業上必要なスキルを理解する		
		自己評価を行なう		
		スキル向上のための方法・学習機会・職業訓練に関する情報を入手する		
		講座や訓練に申込みをする		
		講座や訓練に参加する		
【6 子どもの教育・	出産	出産前健診を受ける		
		母親学級・父親学級に参加する		
	子どもの健康	乳幼児健診を受ける	乳幼児健診や無料がん検診の通知を読む(日時や持ち物など，必要事項の把握)(52.)	
			身長・体重・身体発達を理解する	
			各種教育パンフレットを理解する	
			医者・保健所担当者とやりとりをする	
		予防接種を受ける	市報・区報の，予防接種や健康診断などについてのお知らせを読む(45.)	
			医者・保健所担当者とやりとりをする	
		託児施設，保育施設，公園を利用する		
		育児相談を利用する	医者・保健所担当者とやりとりをする	
	しつけ	時間の管理をする		
	・	健康の管理(食事，歯磨き，睡眠)をする		
	幼・保育・小中学校	役所で保育園・学童保育の申請手続きをする		
			通知を理解した上で，持参物の用意をする	
		先生からの連絡ノートに返事や子どもの様子などを書く(78.)		
		先生に口頭で子どもについて相談をする(79.)		
		行事へ参加する		
		給食へ対応する(献立の理解，食事制限の伝		
		お弁当を作る		
		欠席・遅刻・早退を連絡する		

領域	場面	言語行動	下位行動(1)	下位行動(2)
子どもを育てる】		各種通知を理解する	学校や園からの配布物や連絡ノートを読み，必要に応じて持ち物を準備する(77.)	
		諸経費を理解し，納入する		
		連絡網に沿って，他の保護者に電話連絡をする(81.)		
		他の保護者と交流する，情報交換する，約束す		
		差別・いじめ・トラブルなどへ対処する		
		保護者面談に参加する		
		就学通知を理解する		
		＜役所で＞子どもの小学校や中学校への編入学を相談し，申し込む(41.)		
		学童クラブを利用する	＜役所で＞保育園・学童保育の申請手続きをする(42.)	
		成績通知を理解する		
		義務教育を理解する		
		子どもの進路を決めるための情報を集める		
		進路相談を利用する	先生に口頭で子どもについて相談をする(79.)	
		PTA活動へ参加する	保護者会(PTA等)に参加し，先生の話を聞いたり，他の保護者と意見交換をする(80.)	
		子どもの宿題を手伝う(82.)		
		校則を理解する		
	特別支援	障害を持つ児童・生徒のための教育施設を利用する		
	家族計画	家族計画を理解する		
【7 自身の教育・よりよい	人生設計	将来の希望・夢を実現する	キャリアデザインを理解する	
			目標設定を理解する	
			目標達成のための作業・スケジュールを検討する	
			継続教育機関に関する情報を収集し，理解する	カルチャースクールや職業訓練校など，学習のための機会や場所を探す(76.)
	学習方法の学習	一般的な学習管理を学ぶ	目標設定を理解する	
			作業リスト・スケジュールを作成する	
			ファイル，ノート，カレンダー，などの効果的に利用する	
			学習のための機器を操作する	
		日本語の学習方法を学ぶ	日本語教室等の情報を収集する	役所や国際交流協会に，日本語教室や交流イベント等について問い合わせをする(43.)
			日常生活で日本語を学習する	日本語教室や国際交流のイベントに参加する
			記憶の助けになる方法を身につける	
			辞書や教材を利用する	
	生活の充実	外出や余暇の計画を立てる		

領域	場面	言語行動	下位行動(1)	下位行動(2)
生活を営む】		余暇を楽しむために情報を収集する	天気，電話番号，教育機関・学習機会，イベント参加，図書館，娯楽施設，地域のサークル活動，等について調べる	インターネット
				市区町村の広報
				フリーペーパー
				新聞
		地域の公共施設(図書館，スポーツセンター等)を利用する(75.)	開館日，開館時間を知る	
			利用者登録をする	
			利用申請・登録・予約をする	

Ⅲ.　「学習項目一覧と段階的目標基準（生活のための日本語）案」

2．領域・場面・言語行動の一覧（該当国名入り）

この一覧は，「領域・場面・言語行動」の一覧に，その基礎となった3種のシラバスに関する情報を加えたものである。具体的には，「言語行動」「言語行動（1)」「言語行動（2)」で，3種のシラバスに該当するものがある場合は，それを表中の「該当国」に「日」「米」「蘭」で示した。「日」「米」「蘭」とは，以下の3種である。

日（日本）：中国帰国者定着促進センターの「目標構造表」
米（アメリカ合衆国）：CASAS作成の，成人対象ESL教育の内容に関するスタンダード
蘭（オランダ）：移民等を対象とした市民統合テスト出題のためのシラバス。「オランダ語の達成目標」及び「オランダ社会に関する知識の達成目標」。

「日」「米」「蘭」の右にある番号は，注番号であり，3種のシラバスでの表現や範囲等が異なる場合に，注を付し，表の後にまとめた。オランダの注にある，「ICP～」「KNS～」等については，オランダの注の冒頭部分を参照のこと。

担当：金田智子・福永由佳・黒瀬桂子

【領域1　生命:身を守る】

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
医療機関の利用	初診の受付をして，問診票を記入する(48.)		米									
	診察の時に，医師や看護師とやりとりをする(49.)	日	米	蘭	症状を説明する	日1	米1	蘭				
					アレルギー等を説明する	日1						
					医者の指示・説明を理解する	日1	米2	蘭				
	医療機関へ予約を申し込む		米3	蘭								
	往診を依頼する											
	症状に合わせて，適切な病院・医院を探す(47.)	日2	米4	蘭1								
	薬の飲み方を理解する	日1	米5	蘭2	出された薬に関する説明(種類や効能，飲み方など)を聞く(50.)			蘭				
	休日診療を利用する											

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
	医療費を理解し，支払をする	日3	米6									
	医療費補助を請求する											
薬の利用	市販薬を選択し，購入する		米7	蘭3								
	薬の飲み方を理解する	日1	米5	蘭2	出された薬に関する説明(種類や効能，飲み方など)を聞く(50.)			蘭				
	薬の説明書きから飲み方(1日3回毎食後など)や使い方を読み取る(51.)	日	米	蘭	薬のラベルを理解する		米8					
					処方箋を理解する			蘭				
	薬局(処方箋の扱いの有無，ドラッグストア)を利用する	日4		蘭								
	薬を適切に利用する	日4	米5		常備薬を利用する	日4						
緊急対応・防災	医学的緊急事態に対処する	日5	米9	蘭	血液型，既往症・持病，服用薬を説明する							
	災害に対処する	日	米	米	火災・救急(119)や警察(110)に電話する(56.)	日6	米10	蘭				

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
					緊急時，保険会社に連絡して相談する(57.)			蘭4				
					災害・事故時に他の人に助けを求める(58.)	日7，日8						
					テレビやラジオから災害情報を得る(59.)							
	災害や犯罪に備える	日9			公共の防犯・防災等に関するアナウンスを聞く(46.)							
健康維持・病気の予防	予防接種を受ける	日10	米		市報・区報の，予防接種や健康診断などについてのお知らせを読む(45.)	—						
					予防接種・健康診断前の注意事項を理解する	—	米8					
	健康診断を受ける	日10		蘭	市報・区報の，予防接種や健康診断などについてのお知らせを読む(45.)	—						
					乳幼児健診や無料がん検診の通知を読む（日時や持ち物など，必要事項の把握）(52.)	—		蘭5				
	薬物，タバコ，アルコール依存を正しく理解する		米11									
保険	保険に加入する		米12	蘭	国民健康保険の加入手続きをする(40.)							

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
					生命保険，損害保険，各種保険へ加入する		米12	蘭				
	保険を請求する		米12	蘭								
福祉	介護サービス等を利用する			蘭	役所の福祉課にデイサービス等，介護に関することについて相談する(54.)			蘭6				
					介護認定の申請をし，必要な手続きをとる(55.)			蘭6				
	その他の福祉サービスを利用する		米13									
衛生管理・環境保全	下水道を利用する	日	米		し尿処理のための設備(し尿浄化槽等)を利用する							
	衛生的な生活をする				食品を保存する		米14					
					洗剤を区別し，利用する	日11	米15					
					布巾・雑巾を区別し，利用する	日11	米16					

【領域2　生活:最低限の生活を守る】

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
安全	施錠をする	日11										
	危険物のサイン，ラベルを理解する			蘭								
消費	対面販売(スーパー，コンビニ，小売商店，ドライブスルー)で商品を購入する	日	米		ほしいものの場所を探すために，店内の表示を見たり，店員にたずねたりする(8.)	日12	米17					
					商品の機能や値段を知るために，店頭の表示を読んだり，店員に質問したりする(9.)	日13	米18					
					店内アナウンスを聞いて理解する(13.)	—						
					ドライブスルーで買い物をする(14.)	—						
					商品の表示(衣服の素材，食品の材料等)を読む(10.)	日14	米19					
					ポイントカードや割引券を利用する(11.)		米20					
	通信販売(電話，郵便，カタログ販売，テレビ通販，ネット販売)で商品を購入する	—			ほしい物を電話で注文する(15.)	—						
					ほしい物をFAXやネットで注文する(16.)	—						

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
	レストラン・喫茶店・居酒屋で飲食をする	日15	米		電話やインターネットで店を予約する(1.)	—						
					店で人数・禁煙喫煙，店内飲食か持ち帰りかなどの希望を伝える(2.)	—						
					メニューを読んで注文する(4.)		米21					
					店員に料理の材料について質問したり，希望を伝えたりする(5.)	—						
					食券を買う(3.)	—						
	出前(デリバリー)を利用する				出前用のメニューを見て電話注文する(6.)	—						
	自動販売機を利用する											
	修理を依頼する，返品をする	日	米		品物の返品や交換をする(12.)	日16	米22					
					通信販売で買った品物の返品や交換をする(17.)	—						
	購買のための広告(新聞，折込)を利用する	日17	米18		折り込み広告を見て，値段を比べる(7.)		米23					

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
	支払いをする	日	米		簡単な計算をする		米24					
					税率，割引率を理解する	日18	米25					
					請求書を理解する		米26					
					レシート，領収書を理解する		米27					
					クレジットカードを利用する	日19			利用明細，請求書	—		
					プリペイドカードを利用する	—			購入，チャージ，ギフト	—		
					電子マネーを利用する	—			購入，チャージ	—		
	各種サービス(クリーニング，現像，修理，美容院)を利用する	日20	米28									
金融	銀行を利用する	日21	米	蘭	口座開設(窓口で新しく口座を開設する)(29.)	日22		蘭				
					ATMの利用(現金自動支払機(ATM)で現金の引出，振込，公共料金の支払いなどをする)(28.)	日22	米29	蘭	通帳	—		
									キャッシュカード	日22		蘭

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
					預金(銀行や郵便局の窓口で定期預金や各種ローンを申し込む)(32.)	—	米30					
					ローン(銀行や郵便局の窓口で定期預金や各種ローンを申し込む)(32.)	—	米31					
					送金，振り替え(銀行や郵便局の窓口で海外送金をする)(31.)	日23		蘭				
					両替をする	—						
					銀行や郵便局の窓口で現金引出，振込，公共料金の支払いなどをする(30.)	日24		蘭				
移動	交通機関を選択する		米32									
	公共交通機関を利用する	日	米33		駅やバス停で路線図や時刻表を読む(21.)	日25，日26	米34					
					行き先・停留所を確認する(電車やバスの乗務員や他の乗客に，停車駅や乗り換えを確認する)(23.)	日27						
					駅の構内やバスの車内アナウンスを理解する(22.)	—						
					運賃を支払う	—						

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
					駅の窓口で乗車券を買う(18.)	—						
					駅の券売機で乗車券を買う(19.)	—						
					プリペイドカードを利用する	—						
					駅の券売機で電子マネーにチャージする(20.)	—						
	交通標識を理解する		米35									
	交通規則を遵守する	日28	米36									
	危険行為をしない	日29				—						
	車・オートバイ等を使用する		米	蘭	運転免許を取得する，切り替えをする		米37	蘭				
					車・オートバイを購入する		米38					
					自動車保険に加入する		米39	蘭				
					ガソリンを購入する							

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
					駐車場を確保する，契約する							
					地図を理解する							
					車・オートバイの定期点検を受ける	—	米40					
					事故・故障時に対処する		米41					
					高速道路を利用する		米42					
	自転車を使用する	—			自転車を購入する	—						
					駐輪場を利用する	—						
	徒歩で移動する	日	米		道を尋ねる(道聞き)	日27	米43					
					目的地までの行き方を人に説明する(27.)		米44					
					迷ったときに対処する，交番を利用する	日28						
					家の表札，近隣の地名や番地，交差点名，街の案内地図などを読む(26.)	—	米45		住所・番地	—		

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
									地図の理解		米8	
	タクシーを利用する				タクシーを電話で呼ぶ(24.)	—						
					タクシー運転手と，行き先や行き方などについてやりとりをする(25.)	—						
住居	家を探す	日	米	蘭	ネットで部屋を探す(35.)	—		蘭7				
					不動産屋に相談する(36.)	日30		蘭				
					間取り図を読む(37.)	日31	米46					
					賃貸契約をする(契約書に記入する)(38.)		米47	蘭				
					購入契約をする(契約書に記入する)(38.)	—						
					住宅ローンを組む		米48					
	引越の手続きをする	日	米	蘭	諸手続き(住民登録など)をする	日32	米49	蘭				
					引っ越し業者に依頼をする	—						

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
					不用品の処分をする	—						
	近隣に引越しの挨拶をする(68.)	日33		蘭	退去時にあいさつをする	—						
					入居時にあいさつをする	—		蘭	自己紹介・自国紹介	日34		蘭
	住環境を整える	日	米	蘭	引越しの手続きをする(電気・ガス・水道・インターネット，電話・各種住所変更)(39.)	日23	米49	蘭8	口座振り替え手続き			蘭9
					ガス・水道等の使用明細を理解する			蘭				
通信	手紙・小包などを出す	日	米		送り先，表書きを書く	日35	米					
					記入シートに必要事項を書き込み，書留や小包，宅配便などを送る(33.)	日	米50		日本郵便	日35		
									宅配便	日35		
									各種郵便物	日35		
					宅配便，書留を受け取る	—						
					不在配達通知を見て，自動音声案内に従って再配達依頼の電話をする(34.)	—						

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
	インターネット通信を利用する		米51	蘭10								
	電話を利用する	日36	米	蘭11	電話番号を調べる	—		蘭12	電話帳	日37	米	
					電話料金の明細を理解する	日37	米8					
					公衆電話を利用する		米52					
					留守番電話を利用する	日37	米53	蘭13				
					ファクスを利用する	—						
	携帯電話・PHS・固定電話を契約する	—		蘭	契約を結ぶ			蘭				
情報収集	新聞を読む(66.)	日38	米		統計情報を理解する		米8					
	ニュースを見聞きする(65.)	—			テレビやラジオでニュースを見聞きする(65.)							
					インターネットでニュースを見聞きする							
	電話サービスで天気予報や時間を知る		米54									

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
	ニュース，天気予報を読む		米55		インターネット通信							
	インターネットで検索する	—	米51									
	図書館を利用する(75.)		米	蘭	図書館利用カードを作成する			蘭				
	フリーペーパー，情報誌を活用する	日39							広報	日		
									駅等設置のフリーペーパー	—		
									雑誌	—		

【領域3　市民：市民としての義務を果たし，権利を行使する】

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
公的機関への登録	各種の手続き(外国人登録，住民登録，出生届け，国保加入，転入・転出届け)をする	日		蘭	国民健康保険の加入手続きをする(40.)	—		蘭14				
					役所で子どもの小学校や中学校への編入学を相談し，申し込む(41.)	日40						
					役所で保育園・学童保育の申請手続きをする(42.)	—						
					年金の申し込みや問い合わせをする(53.)	日41						
支援	支援を受ける	日42	米	蘭15	福祉サービス，ネットワーク，相談窓口などを利用する	日	米56	蘭16				
					外国人相談窓口を利用する(44.)	—			国際交流協会	—		
					各種手当(育児手当，扶養手当等)を受給する			蘭17				
	各種補助金を申請し，受給を受ける			蘭18								

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
	支援する	—										
義務	税金を納める		米57	蘭	各種税金(所得税，市民税，消費税等)を理解する		米	蘭19				
					確定申告・還付申告をする		米58	蘭17				
	軽犯罪・犯罪に対応する		米		交通違反切符に対処する		米59					
					犯罪報告手続きをとる		米60					
権利	政治に参加する	日43	米	蘭20	地方参政権を行使する	—			選挙	—	米61	
	人権を尊重する		米	蘭	法的権利を行使する		米62	蘭21				

【領域4　交流・地域参加：他者と交流し，地域社会の一員となる】

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
人との交わり	基本的な挨拶をする		米63	蘭22								
	家族や友人と会話をする(60.)		米									
	自宅にかかってきた電話に対応する(61.)	日44	米64									
	留守番電話のメッセージを聞いたり，留守番電話にメッセージを入れたりする(62.)	日45	米65									
	メールのやりとりをする				家族や友人と携帯でメールのやりとりをする(63.)							
					家族や友人にパソコンでメールを書く(64.)							
	接客する，訪問する	日			訪問者に対応する(67.)	日			訪問のマナー	日46		
									接客のマナー	日46		

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
									食べ物・飲み物の勧め方・断り方	日46		
近隣交際	近隣の人に対して，自己紹介(国，家族の紹介)をする	日47	米63	蘭23								
	近隣の人と家の周辺で挨拶や世間話をする(69.)	日48	米63									
	近隣の人と物(土産，おすそ分け)をやりとりする	日49										
	招待する，招待に応じる			蘭24	好き嫌い，趣味を話す	—						
	近隣の人の慶弔事に対応する	日50		蘭25								
	近所の人に苦情を言ったり，言われた苦情に対処したりする(73.)	日49	米	蘭	迷惑・損害に関して謝罪する		米63	蘭				
					迷惑軽減のための話し合いをする			蘭26				
					迷惑をかけることを予告する			蘭				
地域参加	適切にゴミ出しをする	日51		蘭	ゴミ収集スケジュールを理解する			蘭				

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
					粗大ゴミ回収の予約をする			蘭				
	地域行事・自治会に参加する，協力する	日52	米66		地域の清掃，防災訓練，お祭りなどに参加する(71.)	—						
					自治会などの集会で意見交換する(72.)	—	米67					
					自治会などの委員・役員をする	—						
					日本語教室や国際交流のイベントに参加する(74.)	—						
	回覧板・掲示板を読む(70.)	日53		蘭27								
	緊急時の連絡をする	日54，日55		蘭28								
異文化理解		日55，日56	米68	蘭29								

【領域5　仕事：経済的に自立する】

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
求職	求職申込書や人材登録用紙に必要事項を記入し，求職相談をする(90.)			蘭	求職者登録（ハローワーク，人材派遣会社），エントリーシートに記入する			蘭30				
	求人広告・求人情報を理解する	日	米69	蘭	求人広告を読み，条件を検討する(84.)	日57		蘭31				
					ハローワーク等でパソコンを使って，適当な職があるか検索する(89.)			蘭31				
					職務内容，就業要件，雇用条件を理解する	日58	米69	蘭32				
	求人に応募する	日	米	蘭	履歴書を書く(85.)	日57	米70	蘭33				
					人事担当者に電話で問い合わせをする(86.)			蘭34				
	面接の予約を申し込む		米71									
	面接通知を理解する			蘭								
	面接の準備をする（自己紹介，動機の確認，適切な振る舞い，態度）	日57	米72	蘭35								
	就職面接を受ける(87.)	日59	米72	蘭	自分の能力，職歴を伝える			蘭36				

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
					職務等について自分から質問する		米73	蘭				
					職務内容，就業要件，雇用条件を理解する			蘭37				
就業（労働条件の理解）	雇用契約を理解する		米74	蘭	労働契約書を読んで確認する(88.)			蘭38				
	雇用形態を理解する	—			労働契約書を読んで確認する(88.)			蘭38				
	雇用に関わる保険を理解する			蘭	労働契約書を読んで確認する(88.)			蘭38				
	給与明細を理解する	—	米75		給与明細を見て不明な点について尋ねる(93.)	—						
	出退勤など時間管理に関わる書類を理解し，記入する		米76	蘭39								
	労働者団体（組合等）についての情報を得る	—	米77	蘭40								
	労働者団体（組合等）に加入する			蘭41								
	就業規則を理解する	—	米74	蘭42	就業規則を読み，わからないことを質問する(91.)	—		蘭42				
	労働条件についての質問を口頭あるいは書面で行う			蘭	労働契約書を読んで確認する(88.)			蘭38				

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
就業 (職場の安全確保)	職場の表示や注意書きを読む(104.)		米19		安全上の標示を理解する							
	労働安全用マニュアルを理解する		米8	蘭43	書類を読む(99.)							
	危険・事故・怪我・損傷に関わることを報告する		米	蘭44	日報や報告書を書く(100.)							
就業 (職務の遂行)	仕事のマニュアルを理解する	—	米8	蘭45	書類を読む(99.)	—						
	就業上必要なスキルを理解する	—	米78	蘭46								
	日報や報告書を書く(100.)		米79	蘭47								
	遅刻・欠勤を連絡する，申請する	日		蘭48	欠勤・遅刻・早退の連絡をする(92.)	日60		蘭				
					休暇を口頭で願い出る，休暇届を出す(94.)	日61		蘭				
	指示を理解する，確認する。 業務の進め方を理解する，確認する		米80	蘭49	指示を理解して，適切な行動をとる(96.)		米78	蘭	文化的多様性を意識したコミュニケーション		米81	
	各種通信(メモ，メッセージ，電子メール)をやりとりする	日	米82	蘭50	電話に対応する(98.)	—			私用電話	日62		

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
	書類を読む(99.)		米	蘭51	文書(発表，通知)	—		蘭				
	進捗状況，問題などを報告する		米	蘭52								
	打ち合わせ・会議を行なう		米	蘭	会議議事録・議事項目リストを読む			蘭53		—		
					議事項目リストから会議内容を予測する			蘭53				
					発言の準備をする			蘭53				
					プレゼンテーションをする(101.)	—	米83					
					会議に出席し，意見交換する(102.)	—	米84	蘭	同僚等への説明			
									自身が関係する業務に関する情報提供		米85	蘭
									自身が関係する業務に関する質問・意見		米84	蘭
					自分用に会議の内容を記録する			蘭				

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
					作業の進め方等について改善のための提案や相談をする(105.)		米86	蘭54	職務分担に関する話し合い			蘭54
	顧客とコミュニケーションをする		米	蘭55	取引先や顧客と仕事上のコミュニケーションをする(103.)		米87	蘭				
	人事考課面談を受ける		米88	蘭	人事考課面談の準備をする			蘭	面談での話題に関する理解			蘭
									自己評価・職務記録			蘭56
					人事考課面談で業務及び成果について意見交換する			蘭				
					契約更新について話し合う	—						
事務機器の利用	一般的なツール，装置，機材を利用する	日63	米89									
	ファイリングシステム(コード番号)などを理解する，応用する		米90									
	事務機器を活用する		米									
	コンピュータを利用する	日64	米91									
	機材等のメンテナンスをする		米92									

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
職場でのコミュニケーション	職場の人と仕事を進めるためにコミュニケーションする(97.)		米93	蘭57	同僚・上司・部下とやりとりをする	—						
	休憩時間中に職場の人と会話をする			蘭58								
	職場の行事(歓送迎会，運動会等)に参加し，親睦を深める(95.)	—	米									
キャリア計画	就業上必要なスキルを理解する		米78	蘭59								
	自己評価を行なう		米94									
	スキル向上のための方法・学習機会・職業訓練に関する情報を入手する	日65		蘭								
	講座や訓練に申込みをする			蘭								
	講座や訓練に参加する			蘭								

【領域6　子どもの教育：子どもを育てる】

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
出産	出産前健診を受ける	—										
	母親学級・父親学級に参加する			蘭60								
子どもの健康	乳幼児健診を受ける			蘭	乳幼児健診や無料がん検診の通知を読む（日時や持ち物など，必要事項の把握）(52.)	—		蘭61				
					身長・体重・身体発達を理解する			蘭				
					各種教育パンフレットを理解する			蘭				
					医者・保健所担当者とやりとりをする			蘭				
	予防接種を受ける				市報・区報の，予防接種や健康診断などについてのお知らせを読む(45.)	—						
					医者・保健所担当者とやりとりをする	—						
	託児施設，保育施設，公園を利用する		米95	蘭62								
	育児相談を利用する		米96	蘭63	医者・保健所担当者とやりとりをする	—		蘭				

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
しつけ	時間の管理をする			蘭64								
	健康の管理(食事，歯磨き，睡眠)をする	—		蘭65								
幼・保育・小中学校	役所で保育園・学童保育の申請手続きをする(42.)	日		蘭66								
					通知を理解した上で，持参物の用意をする	日66						
	先生からの連絡ノートに返事や子どもの様子などを書く(78.)	—										
	先生に口頭で子どもについて相談をする(79.)			蘭								
	行事へ参加する	—		蘭67								
	給食へ対応する(献立の理解，食事制限の伝達)	—										
	お弁当を作る	日67										
	欠席・遅刻・早退を連絡する	日68										
	各種通知を理解する	日67		蘭68	学校や園からの配布物や連絡ノートを読み，必要に応じて持ち物を準備する(77.)	日						

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
	諸経費を理解し，納入する			蘭								
	連絡網に沿って，他の保護者に電話連絡をする(81.)	—										
	他の保護者と交流する，情報交換する，約束する			蘭								
	差別・いじめ・トラブルなどへ対処する	日69										
	保護者面談に参加する	蘭		蘭								
	就学通知を理解する	—										
	＜役所で＞子どもの小学校や中学校への編入学を相談し，申し込む(41.)	日40		蘭69								
	学童クラブを利用する			蘭	＜役所で＞保育園・学童保育の申請手続きをする(42.)			蘭70				
	成績通知を理解する	日67		蘭71								
	義務教育を理解する	日70		蘭								
	子どもの進路を決めるための情報を集める(83.)			蘭								

場面	言語行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
	進路相談を利用する			蘭	先生に口頭で子どもについて相談をする(79.)	蘭						
	PTA活動へ参加する			蘭	保護者会(PTA等)に参加し，先生の話を聞いたり，他の保護者と意見交換をする(80.)	—		蘭72				
	子どもの宿題を手伝う(82.)	—										
	校則を理解する	日67										
特別支援	障害を持つ児童・生徒のための教育施設を利用する			蘭73								
家族計画	家族計画を理解する		米97									

【領域7　自身の教育：よりよい生活を営む】

分野	行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
人生設計	将来の希望・夢を実現する	日	米	蘭	キャリアデザインを理解する	—	米98					
					目標設定を理解する	—	米99					
					目標達成のための作業・スケジュールを検討する	—	米100					
					継続教育機関に関する情報を収集し，理解する			蘭	カルチャースクールや職業訓練校など，学習のための機会や場所を探す(76.)	日71		蘭
学習方法の学習	一般的な学習管理を学ぶ	—	米		目標設定を理解する	—	米99					
					作業リスト・スケジュールを作成する	—	米100					
					ファイル，ノート，カレンダー，などの効果的に利用する		米					
					学習のための機器を操作する	—						
	日本語の学習方法を学ぶ	日72	米		日本語教室等の情報を収集する	—			役所や国際交流協会に，日本語教室や交流イベント等について問い合わせをする(43.)	—		
					日常生活で日本語を学習する	日72			日本語教室や国際交流のイベントに参加する(74.)	—		

分野	行動	該当国			下位行動(1)	該当国			下位行動(2)	該当国		
					記憶の助けになる方法を身につける	日73	米101					
					辞書や教材を利用する	日73	米101					
生活の充実	外出や余暇の計画を立てる		米102									
	余暇を楽しむために情報を収集する	日	米103	蘭	天気，電話番号，教育機関・学習機会，イベント参加，図書館，娯楽施設，地域のサークル活動，等について調べる	日74		蘭74	インターネット	—		
									市区町村の広報	日75		
									フリーペーパー	—		
									新聞	日75		
	地域の公共施設(図書館，スポーツセンター等)を利用する(75.)		米104	蘭71	開館日，開館時間を知る			蘭				
					利用者登録をする			蘭				
					利用申請・登録・予約をする	—						

注

<日本>

日 1:「自力でその医療機関が利用できる」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 2:「日本の医療制度に関する最低限の知識を身につける／について知る」のキーワードの１つとして,「病院の種類」が挙げられている。探すという行動は含まれない。

日 3:「日本の医療制度に関する最低限の知識を身につける」のキーワードの１つとして「健康保険の種類，健康保険の仕組み」が挙げられている。

日 4:「健康・衛生を保つための知識を身に付ける」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 5:「日本の医療制度に関する最低限の知識を身につける／について知る」のキーワードの１つとして「緊急医療体制」が挙げられている。

日 6: 「電話利用に必要な知識を身に付け，電話の利用ができる」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 7:「日本の近所付き合いについて知り，近隣の人とよい関係を保てる」のキーワードの１つとして「緊急時の連絡（急病，火災，盗難)」が挙げられている。

日 8:「事故に遭遇したときに通行人に助けを求めたりセンターに電話連絡を取ったりすることができる／対応ができる」のキーワードの１つとして「周囲の人や交番（含：交番の役割）に助けを求める」が挙げられている。

日 9:「住居内の安全と衛生に関する知識を身につける，災害への備え」のキーワードの１つとして「災害への備え」が挙げられている。

日 10:「一般的な，また帰国者にとって便利な情報メディアや情報機関について知る」のキーワードの１つとして「自治体の情報サービス（広報，中国語版生活情報)」が挙げられている。

日 11:「住居内の安全と衛生に関する知識を身につける，災害への備え」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 12:「買いたい物のある場所を探して，選んで買える」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 13:「商店の形態の違いや価格の仕組みの概略を知る」のキーワードの１つとして「表示（店内）を見て場所を探す，人に尋ねて場所を探す」が挙げられている。

日 14:「商店の形態の違いや価格の仕組みの概略を知る」のキーワードの１つとして「表示（サイズ，製造年月日，値引き）を見て物を選ぶ」が挙げられている。

日 15:「身近なサービスの利用法を知る／…利用できる」のキーワードの１つとして「レストラン，喫茶店」が挙げられている。

日 16:「釣り銭の間違いに対処でき，品物の返品交換ができる」

日 17：「一般的な，また帰国者にとって便利な情報メディアや情報機関について知る」のキーワードの１つとして「折込チラシ等広告」が挙げられている。

日 18：「商店の形態の違いや価格の仕組みの概略を知る」のキーワードの１つとして「消費税」が挙げられている。

日 19：「金融機関の種類や利用法を知る」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 20：「身近なサービスの利用法を知る／…利用できる」のキーワードとして「写真の現像・焼き増し，機器の修理，クリーニング，理髪店・美容院」が挙げられている。

日 21：「金融機関の種類や利用法を知る」

日 22：「金融機関の種類や利用法を知る」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 23：「金融機関の種類や利用法を知る」のキーワードの１つとして「口座を持つことの利点」が挙げられ，その詳細事項で預貯金，自動振替，クレジットカードが挙げられている。

日 24：「金融機関の種類や利用法を知る」のキーワードの１つとして「預貯金の出し入れ」があるが，窓口に限定していない。

日 25：「前もって行き方を尋ねて，経路図を書いてもらって，目的の駅まで電車を利用して行ける／…尋ねて，目的の駅まで電車を利用して行ける／前もって行き方を調べて，目的の駅まで電車を利用して行ける」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 26：「2，3回乗ったことのある区間なら，停留所までバスを利用して行ける／前もって行き方を尋ねて，目的の停留所までバスを利用して行ける／前もって行き方を調べて，…」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 27：「よく知られている場所を指定されれば」という前提が明記された上で，「通行人に道を尋ねて目的地（の駅）に行ける／地図を見たり，通行人に道を尋ねたりして，目的地に行ける」とある。

日 28：「徒歩や自転車での通行に関する交通ルールや注意事項を守って通行できる」のキーワードの１つとして「車は左人は右，信号，道路・踏切の横断，自動車の内輪差」が挙げられている。「交通規則」と明記されているわけではない。

日 29：「徒歩や自転車での通行に関する交通ルールや注意事項を守って通行できる」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 30：「日本の住宅事情と住宅の種類について最低限の知識を身につける／…住宅の種類や入居方法を知る」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 31：「日本の住宅事情と住宅の種類について最低限の知識を身につける／…住宅の種類や入居方法を知る」のキーワードとして「住宅広告の見方」が挙げられている。「間取り図」との明記はない。

日 32：「自分に必要な諸手続きとその方法を知る」

日 33：「日本の近所付き合いについて知り，近隣の人とよい関係を保てる」のキーワード

の１つとして「引越しの挨拶」が挙げられている。

日 34:「自分に身近な話題でコミュニケーションできる」のキーワードとして「簡単な自己紹介，家族，故郷，仕事」などが挙げられている。引っ越し時に限定していない。

日 35:「郵便局の通信業務について知り，国内及び中国に手紙や小包が出せる」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 36:「電話利用に必要な知識を身に付け，電話の利用ができる」

日 37:「電話利用に必要な知識を身に付け，電話の利用ができる」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 38:「一般的な，また帰国者にとって便利な情報メディアや情報機関について知る」のキーワードの１つとして「新聞（写真と見出し)」が挙げられている。見出しレベルまでの明記である。

日 39:「一般的な，また帰国者にとって便利な情報メディアや情報機関について知る」のキーワードの１つとして「情報誌」が挙げられている。フリーペーパーの明記はない。

日 40:「日本の学校制度や教育事情，帰国者二世の進学事情を知る」のキーワードの１つとして「中学編入学年決定の要因」が挙げられている。相談・申し込みまでは書かれていない。

日 41:「自分に必要な諸手続きとその方法を知る」のキーワードの１つとして「年金」が挙げられている。申し込み・問い合わせまでは書かれていない。

日 42:「サポートの入手法や精神の安定を保つための楽しみを見いだす方法について知る」のキーワードとして挙げられている。

日 43:「日本と中国の政治体制の違いについて知る◇市民の権利と義務政治の仕組み　行政機構・三権」がある。

日 44:「電話利用に必要な知識を身に付け，電話の利用ができる」とし，自宅に限定していない。

日 45:「電話利用に必要な知識を身に付け，電話の利用ができる」のキーワードとして「電話機の種類と使い方（含留守電)」が挙げられている。

日 46:「接客･訪問の基本的なマナーを身に付ける」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 47:「自分に身近な話題でコミュニケーションできる」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 48:「時や場所，相手を考えて，前もって準備された話題や適切な表現を使って会話を継続させることができる／時や場所，相手を考えて，話題を準備したり，展開したり，適切な言い方を選んだりすることができる」のキーワードとして「コミュニケーションを切り出すための話題，共有できる話題，避けた方がいい話題」「相づち，ですます体と普通体／…，待遇表現等」「身近な話題についての一つの題材をめぐる簡単な質問，

身近な話題の範囲内で相手の反応に応じた簡単な展開」が挙げられている。

日 49:「日本の近所付き合いについて知り，近隣の人とよい関係を保てる」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 50:「日本の近所付き合いについて知り，近隣の人とよい関係を保てる」のキーワードの１つとして「慶弔の知織」が挙げられている。(対応までは求められていない)

日 51:「日本の近所付き合いについて知り，近隣の人とよい関係を保てる」のキーワードの１つとして「ゴミの分類と出し方」が挙げられている。

日 52:「日本の近所付き合いについて知り，近隣の人とよい関係を保てる」のキーワードの１つとして「町内会制度」が挙げられている。

日 53:「日本の近所付き合いについて知り，近隣の人とよい関係を保てる」のキーワードの１つとして「回覧板処理」が挙げられている。

日 54:「日本の近所付き合いについて知り，近隣の人とよい関係を保てる」のキーワードの１つとして「緊急時の連絡（急病，火災，盗難)」が挙げられている。

日 55:「一般的な異文化適応過程について知る」

日 56:「異文化事例等を通じて，文化の異同を把握し，その背景について考えてみる」

日 57:「簡単な面接試験に対応できる」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 58:「求職について知る」のキーワードとして挙げられている。

日 59:「簡単な面接試験に対応できる」

日 60:「職場の習慣について知る」のキーワードの１つとして挙げられている。その「正当な理由（病気，交通事情，慶弔）と処理の仕方」まで明記されている。

日 61:「職場の習慣について知る」のキーワードの１つとして「長期休暇のとり方」が挙げらている。

日 62:「職場の習慣について知る」のキーワードの１つとして，電話だけでなく事務用品も私用に使えないことが明記されている。

日 63:「簡単な機器の操作をしてみる」のキーワードとして「電卓，コピー機，カメラ，ビデオデッキ，ビデオカメラ，パソコン」が挙げられている。ただし，職場場面に限定していない。

日 64:「簡単な機器の操作をしてみる」のキーワードの１つとして挙げられている。ただし，職場場面に限定していない。

日 65:　「一般的な，また帰国者にとって便利な情報メディアや情報機関を利用して必要な情報を収集してみる」のキーワードの１つとして「電話を用いた資料請求や問い合わせや申し込み（学校案内の取り寄せ)」が挙げられている。

日 66:「小中学生の生活について知り，学校との連絡や必要な物の準備ができる」

日 67:「小中学生の生活について知り，学校との連絡や必要な物の準備ができる」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 68：「小中学生の生活について知り，学校との連絡や必要な物の準備ができる」のキーワードの１つとして挙げられている。ただし，遅刻・早退の言及はない。

日 69：「子供が学校適応上直面する問題とその対策について知る」とあり，「対応」の明記はない。

日 70：「日本の学校制度や教育事情，帰国者二世の進学事情を知る」のキーワードの１つとして挙げられている。

日 71：「一般的な，また帰国者にとって便利な情報メディアや情報機関を利用して必要な情報を収集してみる」のキーワードとして挙げられている。

日 72：「生活の中で日本語を学べることを意識する／自分の学習観や学習方法について考えてみる」

日 73：「日本語学習の記憶の助けになるいろいろな方法を身に付け，辞書やテキストの見方を知る／日本語学習に必要な基本的技能を身に付ける」

日 74：「一般的な，また帰国者にとって便利な情報メディアや情報機関について知る」のキーワードとして「天気予報，図書館」など様々なものが挙げられている。

日 75：「一般的な，また帰国者にとって便利な情報メディアや情報機関について知る」のキーワードの１つとして挙げられている。

＜アメリカ＞

米 1：症状の説明として，身体部位の特定が挙げられている。さらに，医者からの指示の解釈(interpret)までを一連の行動としている。

米 2：症状の説明から，医者からの指示の解釈(interpret)までを一連の行動としている。

米 3：予約を確保するために必要な情報を特定する（identify)ことまでを一連の行動としている。歯科も含まれる。

米 4：医療サービスの提供者とのやりとりから，適切な医療サービスや施設の特定(identify)，活用までが一連の行動とされている。また，これとは別に，地域社会における医療医療施設を探すという別項目もある。

米 5：必要な薬を特定し（identify)，使用する。

米 6：医療費について明確な説明を求める。

米 7：処方薬，市販薬，ジェネリック薬品の違いを特定する（identify)。

米 8：「理解する」ではなく，「解釈する(interpret)」。

米 9：簡単な応急処置を解釈する(interpret)。

米 10：個別の電話番号を列挙せず，「緊急電話番号」とまとめている。緊急電話番号の特定（identify)から電話をかけることまでを一連の行動としている。

米 11：問題の認識から，治療を受けられる場所の特定（identify)までを一連の行動としている。

米 12:「加入」ではなく，保険に関する情報の「解釈 (interpret)」や「特定(identify)」。また，連邦政府による健康保険制度 (Medicare) 等の行政サービスの場合，情報の特定 (identify)からサービス提供者とのやりとりの仕方の特定 (identify)までが一連の行動としてまとめられている。

米 13:「利用する」ではなく，「福祉サービスをいつ/どのように利用するかを特定し，さらにサービス提供者とのやりとりを特定する」までが一連の行動としてまとめられている。

米 14：食品保存の情報を解釈する (interpret)。

米 15:食器洗い,家の掃除,洗濯に関わる行動を認識(recognize),実践する(demonstrate)。

米 16：家事と家の掃除に関わる行動を認識 (recognize)，実践する(demonstrate)。

米 17：商品を見つけるために必要な情報を解釈する (interpret)。

米 18：商品やサービスを選択するのに必要な情報(広告，ラベル，表，値札) を解釈する (interpret)。

米 19:「読む」ではなく，「解釈する (interpret)」。

米 20：クーポン (割引券) のみ。

米 21:「読んで注文する」ではなく，「解釈して注文する」。さらに解釈，注文だけではなく，費用の計算も含まれる。

米 22:商品やサービスの購入と返品や交換は一連の行動としてまとめられている。さらに，返品・交換に関わる，製品保証の解釈 (interpret)や消費者保護の手続きの特定 (identify)の項目もある。

米 23：値段を比べるために何をもとにするのかは明示されていない。

米 24：整数，小数，分数の計算は計算の項目として立てられている。

米 25：税率の計算は含まれない。

米 26：請求書を「解釈する (interpret)」。

米 27：レシートを「チェックする (check)」。

米 28：修理に必要な情報を「解釈する (interpret)」。クリーニング，現像，美容院はない。

米 29：ATM の利用は，普通預金口座と当座預金口座の利用の一例として示されている。

米 30：利子と利子を生む貯蓄を解釈する (interpret)。

米 31：ローンの種類に関する情報を解釈する (interpret)。

米 32：交通機関の特定 (identify)，利用，情報の解釈までが一連の行動としてまとめられている。

米 33：公共交通機関に限定せず，各種交通機関の特定 (identify)，利用，情報の解釈までが一連の行動としてまとめられている。

米 34：駅やバス停に限定せず，各種交通機関の時刻表と料金の解釈 (interpret)が一連の

行動にまとめられている。路線図は含まれない。

米35：交通標識の理解のほかに，ハイウェイと道路標識の解釈（interpret)も別項目で挙げられている。

米36：交通ルールの理解は運転免許の取得と関連づけられている。

米 37：運転免許取得そのものではなく，取得に必要な交通規則と手続きを特定する（identify)。

米38：購入そのものではなく，車の選択と購入に関する情報を解釈する（interpret)。オートバイは含まれない。

米39：加入そのものではなく，自動車保険に関する情報を解釈する（interpret)。

米40：「定期点検」に限定せず，自動車の管理に関する情報を解釈する（interpret)。

米41：突発事故時の対応で，故障は含まれない。

米42：ハイウェイと道路標識の解釈（interpret)が一つの項目にまとめられている。

米43：道を尋ねるだけではなく，教える，明確にする，従うまでが一連の行動としてまとめられている。

米44：道を教えるだけではなく，尋ねる，明確にする，従うまでが一連の行動としてまとめられている。

米45：公共の標識や案内図を解釈し（interpret)，従う。家の表札は含まれない。

米46：間取り図に限定せず，住居選択に必要な様々な情報を解釈する(interpret)。

米47：賃借・賃貸契約を解釈する（interpret)。他に賃借人と大家の権利に関する情報の解釈(interpret)の項目もある。

米48：ローンを「組む」ではなく，「解釈する（interpret)」。住宅ローンと保険の解釈が一連の行動としてまとめられている。

米49：電気・ガス・水道の解約だけではなく，手続き，管理の解釈（interpret)が一連の行動としてまとめられている。

米 50：記入シートの解釈（interpret）だけではなく，戻ってきた手紙への対応に関する指示の解釈までが一連の行動としてまとめられている。

米51：インターネットを含む，各種情報源を特定し（identify)，活用する。

米52：「利用する」ではなく，利用に関する情報を「解釈する(interpret)」。

米53:留守番電話にメッセージを残す,また録音されたメッセージを解釈する(interpret)。

米54：「知る」ではなく，「解釈する(interpret)」。電話サービスに限定していない。

米55：「読む」ではなく，「解釈する(interpret)」。天気予報のみ。

米 56：支援者や支援機関を特定し（identify)，活用する。また，支援の提供者とのやりとりの仕方を特定することも別項目として挙げられている。

米57：市民の責任としての投票，陪臣義務，納税を解釈する（interpret)。

米58：所得税申告書を解釈する（interpret)。

米 59：交通違反切符に関する情報を解釈する（interpret)。

米 60：犯罪報告の手続きを特定する（identify)。

米 61：投票と政治的プロセスを理解する。

米 62：法的権利と責任の理解，法的アドバイスを得るための手続きの特定（identify)が一連の行動としてまとめられている。

米 63：通常の社会状況における言語の使用として，挨拶，紹介，感謝，謝罪，褒め，喜びや遺憾の表明が例として挙げられている。

米 64:私用や仕事上の電話をかけたり，受けることが一連の行動としてまとめられている。

米 65：「聞く」だけではなく，「聞いて解釈する」。

米 66：地域社会の問題と解決策の情報を解釈する（identify)。

米 67：「自治会」に限定せず，問題に対する自分の伝える。

米 68：様々な集団〔民族，文化，言語）いついての情報を解釈する（interpret)。

米 69：求人広告や職務内容等の就職に関する情報源を特定し（identify)，利用する。求人情報だけではなく，労働市場に関する情報源も含まれる。

米 70：履歴書の記入は，仕事に応募するための手続きの一つとして挙げられている。

米 71：面接の予約は面接の手順の一つとして挙げられている。

米 72：適切な服装で適切に行動する，適切な質問の受け答えをする等，面接の手順を特定する（identify)。

米 73：適切に質問に受け答えすることが，面接の手順の一つとして挙げられている。

米 74：雇用契約と労働協約を解釈する（interpret)。

米 75：「理解する」ではなく，「解釈する（interpret)」。時間管理の用紙も含まれる。

米 76：「理解する」ではなく，「解釈する（interpret)」。賃金や手当ての用紙も含まれる。

米 77：「得る」ではなく，「解釈する（interpret)」。

米 78：仕事に必要なスキルと教育の特定（identify）が一連の行動としてまとめられている。一般的な仕事のためのスキルと，昇進するためのスキルが別項目で扱われている。

米 79：仕事の進捗状況，問題など，報告すべきことがらが例示されている。また，「書く」に限定していない。

米 80：支持の理解だけではなく，指示を与える，フードバックや批判をする，批判に対して適切に対応することが一連の行動としてまとめられている。

米 81：文化的多様性の尊重や固定観念の回避等，多文化の職場で働く上で効果的なアプローチを特定し(identify)，活用する。

米 82：仕事関係の通信を解釈し(interpret)，書く。

米 83：特定の目的のために情報を選択・分析し，他人に伝える。「書面」「口頭」の両方が含まれる。

米 84：相違を解決すための交渉スキルの一つとして，意見の相違点の認識等が挙げられて

いる。

米 85：情報の提供／取得するために必要な言語を特定（identify)し，使用する。自分の関連する業務に限定しない。

米 86：相談は含まれない。

米 87：消費者や顧客との効果的なコミュニケーションのスキルを示す。

米 88：職務と職務評価を解釈する（interpret)。

米 89：「利用する」ではなく，「特定する（identify)」。

米 90：ファイリングシステムを使う能力を示す。

米 91：基本的なコンピュータ利用のスキルを示す。

米 92：機材の問題の特定（identify)，解決，メンテナンスの手順に従うまでが，一連の行動としてまとめられている。

米 93：コミュニケーションのほかに，職場での適切な振る舞い，服装，態度，交流等に関することがらも別項目として挙げられている。

米 94：キャリア計画の特定（identify）の一例として，自己評価が挙げられている。

米 95：保育サービスを特定する（identify)。

米 96：育児を支援する手段を特定する（identify)。

米 97：家族計画に関する情報を解釈し（interpret)，機関を特定する（identify)。

米 98：キャリア計画を特定する(identify)。

米 99：職業訓練のニーズの特定(identify）と学習目標の設定が一連の行動としてまとめられている。そのほかに，様々な目標の優先順位付けも別の項目として挙げられている。

米 100：組織力と時間管理能力を特定（identify)し，実践することが一連の行動としてまとめられている。さらに，優先順位付けやスケジュール設定等の効果的なアプローチの実践も別の項目として挙げられている。

米 101：日本語学習に限定していない。

米 102：外出や余暇の計画を立てるための情報を解釈する(interpret)。

米 103：情報を解釈する(interpret)。テレビや映画も含まれる。

米 104：図書館サービスのみ。

＜オランダ＞

「I.CP～」「KNS～」等は，「オランダ語の達成目標」及び「オランダ社会に関する知識の達成目標」の中での項目番号を整理し，便宜的に略号を付したものである。それぞれの略号の意味は以下のとおりである。

・ 「CP」:「オランダ語の達成目標」のうちの，「必要不可欠な場面」。「オランダ語の達成目標」は，「市民生活」「子育て」「就労」の 3 種に分けられ，さらに「就労」のうち，

職業別に別途，示されているものもある。以上の4種を便宜的に「Ⅰ」～「Ⅳ」とし，「CP」の前に示した。例）ICP3.1.

・ 「Ⅳ」には，「保健・医療分野」「技術分野」「商業サービス分野」があり，それぞれ「保」「技」「商」と略した。

蘭1：KNS4で，一次保健医療（家庭医）を利用し，二次保健医療機関（専門医）を紹介してもらうという原則について理解していることが求められている。

蘭2：ⅡCP10で，テーマとして「処方箋」が挙げられている。

蘭3：「KNS4.4.薬局を利用する」で，処方箋を必要としない医薬品をドラッグストアなどで購入することが挙げられている。

蘭4：ICP5.3.2.保険会社のサポートを求めることができる。

蘭5：ⅡCP11.1.1.歯医者からの呼出状を読むことができる。

蘭6：KNS4.9.老人や慢性疾患患者，障害者の介護を利用したり，手配する。

蘭7：KNS3.1.1.公営住宅新聞やウェブサイトを参照する。

蘭8：ICP7で，ガス，水道，電気，電話の使用開始手続きが，KNS3.2で「自宅における公共サービスと通信手段を手配し，利用する」が挙がっている。

蘭9：ICP72.2で「自動引き落とし」が挙がっている。

蘭10：KNS3.1.1.公営住宅新聞やウェブサイトを参照する。

蘭11：「電話を利用する」は単独で目標設定されていないが，申し込みや情報収集のための手段として「電話」が挙げられている。

蘭12：ⅡCP11.1.6.で，「歯医者の電話番号を調べることができる」がある。

蘭13：留守番電話ではないが，ICP8.2で，自動応答電話（選択メニュー）への対応が挙げられている。

蘭14：ICP5で，「健康保険」が挙がっている。

蘭15：一般的能力として「正式及び略式の援助が得られる機会を活用する」がある。

蘭16：KNS6.4.法律支援（市民相談課）と社会福祉を利用する（6.4.4.社会福祉事業/未成年者保護サービスがいずれの場合に支援を提供できるか知っている。6.4.1 政府から不当な扱いを受けたことに対してどのように抗議できるかを知っている。6.4.3 法律支援を受けるには，弁護士や司法窓口に問い合わせればよいことを知っている。）

蘭17：KNS6.2.税金申告や税金還付，特別手当（医療手当，託児所手当，住宅手当）の申請に対応する。

蘭18：KNS8で，「教育補助金」が挙がっている。

蘭19：ICP6.5.市役所に地方税を納める（振込用紙を読むことができる。

蘭20：KNS 7.1.3.「参政権／民主主義」の意味するところ，ならびに投票の重要性を知っている。

蘭 21：KNS 1.3.労働市場の（隠れた）差別に対処する。1.3.1 差別を受けた場合の法的権利と手続きについて知っている。1.3.2　様々な形態の（隠れた）差別に対して自己防衛を高める戦略を心得ている。

蘭 22:就労領域で,「Ⅳ.技 CP1.3.2.顧客に別れの挨拶をすることができる。」があるのみ。

蘭 23：Ⅰ.CP10.1. 近所の人たちに引越の挨拶をする。Ⅰ.CP10.1.1.受験者は隣人に対し自己紹介をすることができる。Ⅰ.CP10.1.2.受験者は家族構成，出身国などの質問に答えることができる。

蘭 24：Ⅰ.CP10.2. 近所の人たちを招待する。

蘭 25：「Ⅰ.CP10.3. 近隣の家庭の出来事(出産，死亡，結婚，病気）に対し適切に対応する。」とあり，お祝い・お悔やみを述べたり，手伝いを申し出たりすることが挙がっている。

蘭 26：迷惑をかけられる側かかける側かは限定されていない。

蘭 27:図書館，スポーツクラブ，乳幼児健診センター，歯医者の待合室に関し，それぞれ，掲示板にある告知・情報を読めることが目標として挙げられている。

蘭 28：住まいにおける知識として，「KNS3.2.4　（ガス，電気等の）障害発生時に誰に連絡を取らねばならないかを知っている。」が挙がっている。

蘭 29：「KNS2.マナー，価値観や規範」で，国，文化，地域等により，マナーや価値観，規範が異なることに対応できることが目標として挙げられている。「KNS5.4.オランダで受け入れられている自由な概念に対応する」などで，男女平等，服装の自由等の尊重が挙げられている。

蘭 30:職業安定所等での求職者登録と,求人応募のためのエントリーシートの記入は,別々の行動として挙がっている。

蘭 31：新聞，情報冊子，インターネット等，情報源は特に区別していない。

蘭 32：求人広告等を読んで理解することと，職業安定所等の職員に口頭でのやりとりで情報を理解することとを別の行動として区別している。

蘭 33：ⅢCP1.2.には「職歴のメモを作成」とだけあり，日本のような書式があるかどうかは不明。

蘭 34：「問い合わせ」にとどまらず,「ⅢCP2.2.電話で求人に応募する」となっており，その際に職歴や動機などを説明できることが挙げられている。

蘭 35：「ⅢCP2.1.求人・採用面接の準備をする」には，応募する企業・職務についての情報を読み，要点を理解することが挙げられている。「適切な振る舞い」は含まれていない。

蘭 36：職歴，動機を述べることが挙がっているが，能力は挙がっていない。ただし，「自分自身に関する質問に答える」がある。

蘭 37：面接時の行動（ⅢCP3）として，労働契約（契約書）の理解と，雇用条件に関する

話し合いが挙げられている。

蘭 38：ⅢCP4 において，契約書を読み，不明箇所については同僚などに確認し，雇用主等と話し合いをする，という流れになっている。

蘭 39：Ⅳ.技 CP1.4.標準書式に作業時間＜必要に応じて開始および終了時刻＞を記入することができる。

蘭 40：KNS1.2.において，労働組合を含めた従業員参加の各種形態に対する理解，が挙げられている。

蘭 41：「KNS1.2.労働組合に積極的に参加する」

蘭 42：蘭 38 の「労働契約書を読んで確認する」に含まれる。

蘭 43：Ⅳに共通するものとして，「労働安全衛生規則」の理解が挙がっており，「文章」の理解が求められている。

蘭 44：Ⅳ技 CP2 に，故障についての報告が挙げられている。

蘭 45：Ⅳに共通するものとして，「指示書の理解」がある。

蘭 46：KNS1.2.1.雇用者が被雇用者に対してどういった一般要件を提示するかを知っている。

蘭 47：Ⅳに共通するものとして「CP2 報告する」があり，標準書式やキーワードを用いた，「書面による業務報告」が挙がっている。

蘭 48：ⅢCP6 において，病欠に関わることのみ挙がっている。

蘭 49：Ⅳに共通するものとして，口頭による指示の理解がある。

蘭 50：Ⅳ技.CP2.2.にのみ，「継続作業について短いメモや伝言を書く」がある。

蘭 51：ⅢＣＰ7 で議事録，ⅢＣＰ8 で業務指示が挙がっている。

蘭 52：Ⅳに共通するものとして（CP2），書面・口頭の両方が挙がっている。

蘭 53：ⅢCP7.1.仕事の打ち合わせの準備をする際の行動として挙がっている。

蘭 54：同僚とのやりとりのみが想定されている。

蘭 55：Ⅳ.保 CP1.3.業務について医療受給者やクライエントと会話をする。

蘭 56：Ⅲ.CP5.1.3.受験者は自分の仕事ぶりについての私見をリストアップすることができる。

蘭 57：指示理解や報告など，業務遂行上のコミュニケーションとして細分化されている。

蘭 58：Ⅲ. CP9.1.同僚と形式ばらない会話をする。

蘭 59：「KNS1.1.5. 自分の資格やキャリアの可能性に関して，労働市場の関連産業部門に見識がある」とあり，成功行動の指標として「労働市場で職を得るチャンスに影響を及ぼす要因について考慮する」が挙げられている。

蘭 60：KNS4.7.1 母親学級や助産婦介助の申し込みをどこでしたらよいか知っている。

蘭 61：Ⅱ.CP11.1.1.歯医者からの呼び出状を読むことができる。

蘭 62：Ⅱ.CP2 プレイルーム（全般的目標：適切な方法で託児施設を利用することができ

る）

蘭 63：Ⅱ.CP1.3.1.（乳幼児健診センター職員と）子どもの発達について会話することができる。KNS8.2.3.　育児支援の機会が存在することを知っている。Ⅱ.CP2.4. プレイルームの責任者と子どもの発達についての会話をする。

蘭 64：場面に関係なく身につけているべき一般的能力の一つとして，「適時に，制限時間を超えることなく対応する」がある。

蘭 65：Ⅱ.CP11 で，歯の手入れ，健康な歯の重要性に関することがらが挙がっている。食事・睡眠については言及がない。

蘭 66：Ⅱ.CP2.1.4　（プレイルームや託児所に）子どもを登録することができる。

蘭 67：Ⅱ.CP4.3. 学校の保護者活動に参加する。

蘭 68：Ⅱ.CP4.1.1 及びⅡ.CP4.1.2　で，保護者面談の案内を読み，面談申込用紙に記入することができることが目標として設定されている 。「Ⅱ.CP8.2.学校主導で，進学に関する話を教師とする。」の中で，「Ⅱ.CP8.2.1.　（面談や夜間説明会の）案内状を読むことができる。」が目標として設定されている。

蘭 69：Ⅱ.CP3 及び CP8 において，教師や校長に相談することが挙げられている。

蘭 70：Ⅱ.CP2.1.4.　（プレイルームや託児所に）子どもを登録することができる。

蘭 71：保護者面談・進学相談の資料として，成績表や CITO テスト（初等教育修了時に受ける全国一斉学力テスト）の結果を読み，理解できることが求められる。

蘭 72：Ⅱ.CP4.3. 学校の保護者活動に参加する。Ⅱ.CP4.4.2. 他の保護者と情報交換をすることができる。

蘭 73：「KNS8.1.4. 障害を持つ生徒のための教育施設があることを知っている。」があり，成功行動の指標として「該当する場合，身体や精神的障害を持った子ども，学習や行動に問題がある子どものために用意された特殊教育の機会を利用する。」がある。

蘭 74：「Ⅱ.CP6. 読書と遊び」「CP7. 自由時間」で，図書館やスポーツクラブに関する情報入手や，登録などについて，子どものことだけではなく，自分自身ができるようになることが目標として設定されている。

編集・執筆

日本語教育基盤情報センター 学習項目グループ

グループ長　金田智子

研究員　福永由佳

研究補佐員　黒瀬桂子

協力

中山　健一

国立国語研究所内部報告書（SL-SCG-08-01）

日本語教育における学習項目一覧と段階別目標基準の開発：中間報告書

平成21年3月31日

編集・執筆　日本語教育基盤情報センター 学習項目グループ

発　行　者　独立行政法人 国立国語研究所

日本語教育基盤情報センター

〒190-8561　東京都立川市緑町10番地の2

電話　042（540）4300（代表）

（H20 - 15）

独立行政法人
国立国語研究所

R70
古紙配合率70%再生紙を使用しています